京城日報

三月三日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金[illegible]
廣告料金 △[illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]

十一月一日現行

第四十回帝國議會 (東京特電)

衆議院 (三日)

▲本會議 ＝前刊より續く＝編輯延著＝

●選擧法中改正案●
●國民黨の堀川美哉氏提案理由を說明し憲政會案と同一委員附託●
●日本勸業銀行法中改正案●
●郵便鐵道法中改正案●
●軌道條例改正案●
右三案を一括して議題に供し委員長井上角五郎氏(政友)報告通原案修正可決確定
●刑法中改正案●
●人權保護法中改正案●
●刑事訴訟法中改正案●
一括して委員長湯淺凡平氏(國民)より委員會にては人權保護法案に就ては官吏が捜索訊問の爲め恐喝又は詐術を用ひたる場合の罰則を設くるの修正を爲し三案共可決せりと報告するや中西六三郎氏(政友)赤尾彦作氏(政友)の間に質問應答あり二讀會を延期すべく決定
●トラホーム豫防案●
建議者行德健男氏(憲政)の說明あり九名の委員附託
●壹岐對馬本土間航通運輸連絡案●
理事秋田寅之介氏(新政)委員會にて一致可決せりと報告し可決確定
請願二十二件
阪東委員長報告を爲し全部採擇に決し後日程追加
●ペスト發生豫防處置に關する質問●
土屋清三郎氏(新政)登壇傳染病研究所の失態を追及し田所文部次官の答辯あり同三時二十分散會

●米艦隊浦鹽投錨

米國亞細亞艦隊旗艦ブルックリン號は一日午後一時浦鹽港に投錨せり(浦鹽電報)

●印綿輸出税賦課反對

印度政廳の印綿輸出税賦課は調節委員會にて二三日中に決定の筈なるも反對の意見多し(カルカッター電報)

●野津旅團長北上

柳樹屯駐在野津旅團長は二日奉天に來り直に北京に向け出發せり(奉天特電)

●米國鐵道隊一行

米國鐵道隊一行は一日より引續き四日迄奉天通過北行の筈なるが一日及び二日通過の各五十二名は何れも奉天大和ホテルに於て鄭重なる午餐の饗應を受け出發せり(奉天特電)

東京より　在京一記者

世界思潮の大勢と我が帝國 (十四)

○我が帝國は、君主立憲主義を以て欽定憲法の本義精神と爲すと雖も、世界何れの所が我が帝國の如く、民主々義以上の王道的民主々義を實行し、社會主義以上の國家社會主義を實行するものあらむ哉。○是れ實に我が帝國の皇統一系、天壤と共に窮り無き所以。國體尊嚴萬古渝らざる所以也。○明治戊辰に於ける五條の御誓文は、天祖の神勅を具體的に彰はしたる第一の憲章にして、帝國憲法の精神、茲に存するは言ふを俟たず。而して此の御誓文に於て『廣ク會議ヲ興シ、萬機公論ニ決スベシ』とは、公論主義に非ずや。『官武一途庶民ニ至ル迄各其ノ志ヲ遂ゲ、人心ヲシテ倦マザラシメム事ヲ要ス』とは、君民一致主義に非ずや。『舊來ノ陋習ヲ破リ、天地ノ公道ニ基クベシ』とは、民主々義以上の純理想主義に非ずや。『智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スベシ』とは、世界的王道主義に非ずや。今日、世界思潮の大勢たる民主々義、民族主義の如きも將た國家社會主義の如きも亦皆此の中に包含せられざるは無き也。○又帝國憲法發布の勅語に『朕、國家ノ隆昌ト臣民ノ慶福トヲ以テ中心ノ欣榮トシ』と宣し『我ガ祖我ガ宗ハ、我ガ臣民祖先ノ協力輔翼ニ倚リ、我ガ帝國ヲ肇造シ、以テ無窮ニ垂レタリ』と宣し『朕、我ガ臣民ハ、即チ祖宗ノ忠良ナル臣民ノ子孫ナルヲ回想シ、其ノ朕ガ意ヲ奉體シ、朕ガ事ヲ奬順シ、相倶ニ和衷協同シ、益々我ガ帝國ノ光榮ヲ中外ニ宣揚シ、祖宗ノ遺業ヲ永久ニ鞏固ナラシムルノ希望ヲ同クシ、此ノ負擔ヲ分ツニ堪ユルコトヲ疑ハザルナリ』と宣し給へるもの、是れ豈に最も克く君民一致の理想を闡明したるものにして、世界の立憲歷史に其の例を見ること能はざるものに非ずや。○苟くも天皇にして王道的民主々義を理想とし給ふに非ざれば、安ぞ斯る勅語を臣民に宣し給ふを得むや。苟くも我が帝國にして宇內特殊の國體を有するに非ざれば、安ぞ克く斯る君民一致主義の實現を期することを得むや。○歷代の天皇、皆天祖の神勅を奉じ、肇國の皇謨を體し王道的民主々義を實行し、國家社會主義を實行せざるはなし。是を以て億兆の臣民咸な其の心を一にし、古より今に至るまで、皇室中心主義を奉じ、押日命の所謂『海行かば水つく屍、山行かば草むす屍、大君のへにこそ死なめ、顧みはせじ』との國家的精神を發揮せむことを期せざるは無し。勅語に所謂『此レ我ガ臣民ノ忠實勇武ニシテ、國ヲ愛シ公ニ殉ヒ、以テ此ノ光輝アル國史ノ成跡ヲ貽シタリ』とあるは即ち是れ也。然るに、世の論者、彼の淺薄皮相なる民主々義に心醉し、泰西政治家の糟粕を嘗め、之を以て我が國體を解し、我が憲法を解せむとするは、所謂道邇きに在りて之を遠きに求むるもの。擔板漢にあらずして何ぞや。

●支那南北妥協

但し幾多の曲折あらん

帝國の形勢急變し極東の危局刻々迫り來る爲め馮總統と主戰派の段祺瑞氏との意思疏通の機會を與へたるは掩ふ可からざる事實にして過日馮總統が徐世昌、段祺瑞氏等と協議の結果主戰派の督軍曹錕、張敬堯氏等に南北妥協の內命を發したるのみならず今又休戰命令を發すべく決定せりとの報道あるを見ても餘程馮段兩派の意思疏通せるを知るに難からず是れ馮總統が極東の危機てふ外交の問題を巧みに內政に利用せるが爲めにして此點より見れば馮總統の遺口は確かに成功と云ふべく現に是迄馮總統派に對して反感を懷ける段派が一の二言に南北休戰を諾し國を擧げて北邊防備に當らん事を主張せる事實に見ても略ぼ其邊の事情を知るに難からず從つて今後馮氏の所謂主和方針は著々事實に現はるべく而して南方派は之に對して必ず其主張を讓歩するなるべく斯くて南北妥協は遂に事實となりて現はれ得べき傾向と爲りたれども果して實際に於て爾く容易に妥協を遂げ得るや否や尙ほ疑問と云はざる可らず第一段氏が全然主和派の主張を容れて迄も南北妥協を遂げんとする意思ありや否やは尙ほ頗る疑問にして現に段氏は外交問題を利用して南北休戰を爲す事に就ては馮氏と同意見なるも其根本觀念に於ては全然馮氏と異なり飽

△四國關係の建議案で、林君『四國の爲め』、『國家の利益の爲に』など、御土產案の効能を述べる、小西君板東君も登壇同様長々と念を押して引下る

く迄南方壓迫に在りとの說あるなれば南方派に於ても其邊の事情を探知すると共に容易に其主張を枉ざる可きを以て世間に想像するが如くに容易に妥協成り難かる可く或は只一時の休戰を見るのみにて再び爭鬪を事とするに至るやも知れず假りに妥協成るとするも其迄には尙幾多の曲折を經るならんかと觀測せらる(某消息通談)

●團體郵貯方針

遞信某當局談

最近鮮人名義團體貯金組合の郵便貯金預入者にして多數取纏め全額拂戾しを爲すもの往々あり上記の

▲全拂の事由 を看るに郡廳に於ける組合代表者の更迭若くは組合組織の變更解散或は學童預入者の卒業等に基因する者多き實況にあり然も僅かに一二回の預入をなしたるのみにて、一時に多數の全額拂戾しを爲すが如きは貯蓄組合創立の趣旨に反するは勿論徒らに郵便局所に於ては手數と經費を浪費する事となり又實際に於ても郵便局所に於て適宜の處置をとれば全額拂戾しは

▲絕對に 避け得られざる義にはあらざるべしとの見込に付爾今之等の全額拂戾請求に對しては可成當局にて繼續預入を慫慂し一部拂戾しに止まらしむる方法を講じ尙ほ一面此の種の組合設立に關し府郡廳吏員其の他の當事者より協議を受けたる時は同吏員等に於て組合成立後は繼續預入方を督勵實行し決して自然の成行に委するが如き事なき樣特に納稅貯金組合に對しては最初預入の際最低現在高として殘存すべき十錢を納稅豫定額に必ず差し加へ預入せしむる事に交涉し其の

▲責任ある應答 を得たる上成立方に付相當便宜を取計ふべく而して現存の貯金組合にして睡眠狀態にあるものに對しては此際府郡面學校等の當局と協力し繼續預入せしむるやうなす筈なり

●砲兵隊充實の急務

鐵自給の必要と木材の準備　渡邊陸軍少將の談

二日夜入京せる陸軍重砲兵射擊學校長渡邊陸軍少將は曰く予の渡鮮は未だ京城地方並に南鮮方面を知らぬから單なる見學のために來たので別に何も意味はない日露戰爭には第一軍司令部に屬し鎭南浦に上陸北行したから同地以北は略知つてゐる此行少しの餘裕があれば新義州まで位は行つて見たいけれど時日なきを遺憾とする帝國の陸軍で一層砲兵隊の充實を圖らねばならぬと云ふ事は首相や陸相も議會で聲明してゐられるが今回の歐洲大戰による砲の威力の發揮は實に豫想外なもので、今やより以上に砲兵隊の擴張を要すると云ふ事は各國共に均しく認めてゐる日本の砲兵隊の戰時編成などは素より公表すべきものではないが事實を云ふと歐洲各國の軍の砲兵一個中隊が有する砲數は平時に於て帝國の砲兵一個中隊の有する砲門より多かつた、然るに開戰後大に各國共砲數を殖したから今日では日本陸軍の砲數不足は比較的に見て一層酷くなり實に寒心に堪へぬ狀態にある當局が砲數增加を企圖し議會が尙ほ不足ではないかと云ふ論調である所を見ると吾々は將來のために實に心強い、乃で砲兵隊の充實を圖るのに單に砲の數ばかり殖してもいけぬ、即ち砲彈たるべき鐵の自給を增大し其の製造所の大擴張を圖らざる可らず又熟練なる砲兵の增加を企圖せねばならぬのだから砲兵隊充實の如きは中々俄に出來る事ではない遂年漸を逐つて準備を進めて行かねばならない、朝鮮には製鐵所も出來又鐵鑛石の採掘も可なり盛んであるやうだが今後は一層鐵の產出を求めたい、それから今回の歐戰で鐵の自給を急とする事を切實に知れる如く木材を豐富に有せねばならぬと云ふ教訓を得てゐる、西部戰線の如く對陣永きに亙ると塹壕やら防禦陣地やらを築造するため極めて巨量の木材を要する帝國も現歐戰の如き戰爭をいつ開かぬものでもないから朝野共に樹木の亂伐を防ぎ植林に鋭意して一朝有事の日に備ふる覺悟を怠てはならぬ

●大阪朝鮮貿易

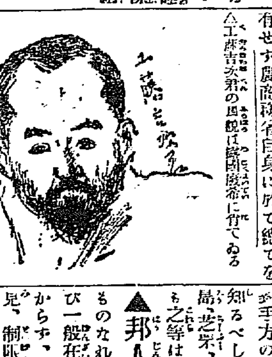
一月下旬に於ける大阪朝鮮貿易の狀況は移出二百八十八萬三千圓移入百九十八萬一千圓にして差引九十萬三千圓の移出超過を示せるが一月以降の累計は移出一千八百二十六萬圓移入一千二百八十四萬五千圓にして差引五百四十一萬千圓の出超なり

●鮮米輸出制限

輸出業者の希望點に就て　大村商業會議所書記長談

朝鮮米の輸出制限は一日の府令を以つて三月八日以後

▲總督府の特許 を受くるに非ざれば其輸出を禁止さるべきこととなりしが右に就き商業會議所大村書記長は語つて曰く『鮮米輸出制限に就ては未だ當局の手心明らかならざるも內地との間に何等障壁の存するなく又恐らく臺灣とも關聯して一齊に其の輸出を制限されたるものなれば其內容の如きに至つても共通點を發見する事多きを知るべし想ふに農商務省が本令を內地に發布せし以上其の輸出許可權の如きは各地方長官之を有せず農商務省自身に於て總てを處理することゝなるべく我が朝鮮に於ても



△工藤吉次郎君の四國觀は隣國經濟に存てゐる

▲道長官 の輸出許可權を有するなく總督府自ら許可不許可を取扱ふ事となるべし又輸出許可權を各地方長官に委任すと云ふが如きも豫想されざる事に屬すと言ふ可し仍ち鮮米の輸出業者は其の輸出に當り當然當局に向つて輸出數量、仕向地及び目的等を記載し各地方道長官の手を經由すべき規定となり居るべし果して然らば總督府に最も近接せる京城商人の如きは比較的其の影響を蒙ること尠からんも釜山、木浦、群山、鎭南浦等の

▲輸出業者 に在りては聊か其の影響大なりと思惟すべき點あり道長官の手を經て其の許可を待つには其所に多少の時日を經過するを要すべく即ち變動激しき市價を有する正米相場の變化等の關係上輸出契約其他の點に非常なる困難を惹起すべきを以つてなり、此の困難は輸出者よりも寧ろ其の手方の損傷大なる場合の多きを知るべし由來朝鮮米は主として島、芝罘、滿洲方面へ輸出され而かも之等は在滿及び在支

▲邦人の食料 となるべきものなれば該地方に於ける商人及び一般在住民の損害を想はざるべからず夫れも相當時日の經過を見、制限に慣れ來らば此の弊害も多少除去さるべきは論無き所なるが制限實施當時暫らくは少くとも前記の困難あるべし即ち予の意見としては各地方廳の手を經由して願書を提出すと言ふ事より寧ろ輸出地の各稅關を經由して總督府に願出づべき標規定あれば比較的

▲前記の弊害 を尠少ならしむるを得べしと信ず或は此の希望は單に自己の意見たるのみならず寧ろ全鮮一般輸出業者の希望たるを想ふものなり

●命令航路に就て

群山商業會議所の希望

群山商業會議所にては昨年來仁川青島間(芝罘大連寄港航路)を群山に延長し群山青島間の貿易を開くの喫緊事たるを認め近く具體的調査を遂げ其の實現を期しつゝあるの矢先き大阪商船會社が長崎大連間の定期航路を來る三月限り廢止するの報に接し是れ又何等かの善後策を講ずるの必要あり依て最近に於て會議所にては所員を北九州に特派し彼の地に於ける朝鮮米の販路其他に就調査せる結果朝鮮西海岸と關門間に新航路を開始するの緊要なるを認め尙ほ東京と朝鮮とは米其他種々なる商取引關係年を逐うて密接を加ふるに拘らず米產地たる朝鮮西海岸と東京方面との間に直通すべき海運機關なきは最も遺憾に堪へずと存し之等海路運輸機關の調節に關し總督府に對し近く請願書提出の準備中なりしが恰も當局より群山府を經て命令航路に關する將來の施設希望を諮問し來りたるを以て右請願書提出の儀を中止し命令航路に關する希望として左記各項に分ち詳細說明理由を附し書類提出の手續を了したりと(群山)

一、南滿洲及び山東省方面に對しては群山及び群山と同一事情の下に在る朝鮮西海岸諸港に同方面行汽船を寄港せしむる事
二、北九州方面に對しては朝鮮西海岸各港と門司との間に命令航路を開く事
三、東京方面に對しては朝鮮西海岸各港と同方面との間に命令航路を開く事

●砂糖界の現況

南滿洲製糖株式會社取締役　白石重太郎氏談

二日午前釜山上陸來釜に向ひたる南滿洲製糖株式會社取締役白石重太郎氏は往訪の記者に語つて曰く

砂糖の產地としては爪哇が一番である先づ同地の約六百萬噸を首位とし米國の約五百萬噸、玖馬の三百萬噸、之れに亞ぎ日本は實に微々たるもので、昨年の如き約四百萬俵に過ぎぬ殊に玖馬の如きは一度植付けた苗を以て

▲僅に五箇年を 反覆し得るのみならず土地豐富の點に於て生產能力は無盡藏と云はれてゐるが一般需供關係は差して過不足なきも船舶其の他運輸關係上時に配給順序を誤つ觀がある從來獨逸、墺太利、洪牙利等より供給を仰ぎ居たる英國の如きは八方に手を擴げて之れが輸入に汲々たる有樣である、瓜哇の如きも船舶の都合で現在約七八十萬噸の停滯を見る有樣であるが右は需供關係から來た停滯でないので價格は依然として昇値を維持して居る甜菜糖の產地佛蘭西の如きも西部戰線區域の不穩の狀態に陷れる爲め

▲減收を示して 居る政府は僅かに二三割の減收を發表して居るが眞相は分らぬ前月中旬日本臺灣糖が馬耳塞に向けて約五十萬噸輸出されたが運賃のみにて百四十萬圓とは驚く可きもので、昨年來臺灣糖は加奈陀へ輸出されたが運賃百斤に付十七圓原料十圓と云ふ有樣である、而して今日世界に於ける生產額は約五千萬噸にして結局生產力に過不足なきも上述の配給關係上停滯地並に不足地を示すので生產能率の增進は價格に何等の影響を及ぼさぬと云ふ事は斷定して差支なからう、我が南滿製糖會社は奉天に工場を有し大正五年十二月

▲資本金一千萬 圓を以て創設し昨年四月工事に著手し十二月より愈々營業開始と云ふ順序となつた、種子の買入れを米國に仰ぎたるも得ず漸く昨年及び本年分約百二十噸を露國より仰ぎたるも何分輸出禁止を發表せる露國の事とて我社に於ても自給自作を圖り米國にて經驗を有せる者を聘し昨年より種子栽培の計畫を樹て居る、昨年は千五六百名の耕作者と契約して二千餘町步に植付けて居たが旱魃の爲本期は約四萬俵(百斤入)餘の收穫を見る事であらう目下一日原料使用高は四百噸位である而して滿洲に於ける需要額は

▲六十萬ピクル にして生產能力は二十萬ピクルである、併し此處三四年を經過したならば我社は全滿洲の供給に應じ移輸入糖を驅逐するの考へで極力努力に腐心して居る、兎も角も現在の相場としては爪哇渡し原糖七圓二三十錢日本糖貿價十九圓二十錢玖馬四弗九十錢位て、船腹供給の平調の後にて一定した標準價格を得るであらうが現在では確たる事は判らぬ併し一般に販路の悠長な事は明かである(釜山)

●全南干潟地調査

總督府にては將來黃海、忠南、全北等の諸海岸に於て適當なる干潟地を發見し之に養殖業を行はしめん爲め先般來之が調査中略終了せるが今回更に全南の干潟地調査の爲め松野技手を派し目下同技手は靈光、長興、光陽、麗水各郡の沿岸干潟地調査中なりと

●莞島海苔產額

本年は雨不足の爲め南沿岸各郡とも海苔は概して良好ならざるも莞島郡は比較的好成績にて製造豫定千二百萬枚にて既に製造せるもの六百五十萬枚此價額三萬五千圓なるが昨年に比して約一割六分の增收をなるべく尙ほ光陽長興に於ても最近の降雨に依り非常の好果を與ふべしと

●秋山長官入京

青島民政長官秋山雅之介博士は東京より歸任の途中四日午前九時三十五分南大門驛著列車にて入京各方面歷訪一泊の上北行の豫定なり

●佐々木長官歸任

內地視察中の慶南道長官佐々木藤太郎氏は三日歸任せり

●農業學校設立認可

一月二十八日附を以て京畿道高陽郡崇仁面に京城公立農業學校の設立を認可されたり

●鮮人向輸入商懇親會

仁川鮮人向輸入商は三日午後五時より仁川ホテル樓上に於て盛大なる懇親會を催したり

□電報不著

東京方面よりの電報は輻輳の爲め本紙締切迄に著せず明朝刊に掲載すべし

彼れ此れ

◆獨逸に、一杯喫はされたる、レーニン君、愈々露都危ふく、吾人は御自身も危ふくなるや、凡てを盡すに、盡す可き、凡てを盡せりと叫ぶ。然り、過激派は盡すべき、凡てを盡して、露國をして、今日の窮地に陷れたるに非ずや。盡すべき、凡てを盡したる今日、レーニン君何ぞ、悲壯の言をなす。

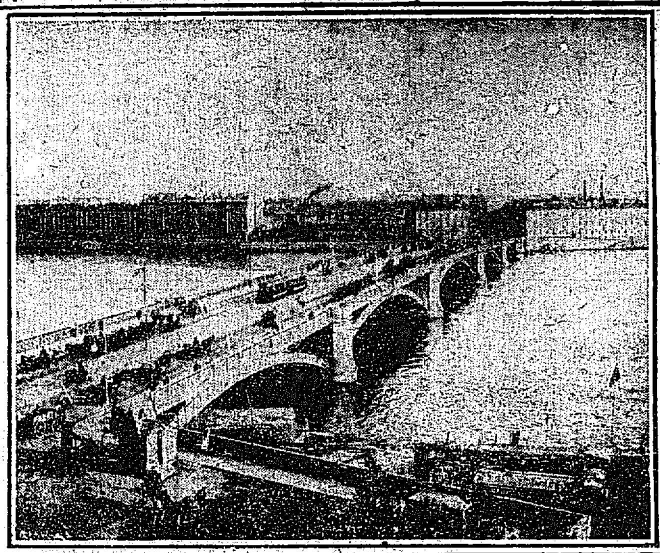
◆我內田大使等の、露都出發の報あると共に、西伯利亞鐵道の一部は、破壞されたりと傳ふ。聊か皮肉の、觀無きに非ざるも、[illegible]を斷れたる、大使一行の旅程は、益々懸念に堪へざる也。

◆露都占領せられたりと報じ、或は未だ、占領せられずと傳ふるも、要するに、這は正に、唯だ時間の問題のみ、其の運命は既に決す。露民莫斯科に退き『百年前』の祖先のゐたる、勇敢なる歷史を繰り返すの、勇氣と、愛國心ありや否や、這は疑問中の疑問也。

◆獨逸の露國進出は、確かなる地步を占めて、更に講和に有利なる、材料とせんが爲に非ざるか。又彼が、露都占領と共に、大見得を切り、又候、羅馬遣より、協商側に對して、之れでも如何と、講和風の、春風と共に、臻るに非ざるか。這も亦、一面の觀察たるを失はざる也。

陷落の報ある露都

獨逸軍ー親獨の帝政將の建造に成りし露都の運命さして今日この報を得て轉た因果の數奇を思ふのである。それにしても例の冬宮の前を流れ、赤露都を貫流してゐるネヴァ川の水は今日、どんな色に流れてゐるであらう。これはネヴァにかゝれるリテイニイ橋で、橋の右端は有名なネフスキー、プロスペクト街である。尚右方に二本の烟突の立つてゐる處はペートル帝のお知合さん時代の大砲製造所であり、今は古昔の大砲を陳列してある處である。



上流大馬賊團
三百餘名の大集團 鴨江岸の山地に

支那臨江縣三岔子八道溝西北方約七里(平北慈城郡對岸)の山間に部下三百餘名を有する大馬賊團の頭目居住し全部精鋭なる武器を携帶せしめ特に其半數は最新の五連發銃を携へ居るの狀態なり該馬賊は昨年十二月初旬通化城を襲撃せんとして討伐隊の爲めに柳河縣及び撫松縣の境界地方に壓迫せられたるを以て現在の箇所に避難せるものゝ如く目下附近各地に出沒し富豪に軍資の調達を強請し或は食糧品の掠奪を敢てする等あらゆる横暴を逞しうし人心恟々たる有樣とて江岸我守備兵隊員は監視怠りなし(平壤)

四萬元を拐帶
吉長鐵路局員 國事犯として起訴

吉長鐵路局の會計員として交通銀行長春支店詰となり同行にて會計事務を取扱ひ居たる蕭鳳鼓なる者は去月十一日(舊曆正月元旦)二萬餘元を拐帶して

▲姿を隱 せり。然るに一方他行員は支那人社會の常として十五日程の日時を正月の底拔け騷ぎにて過ごし去月廿五日の仕事始めに蕭の机の抽斗を開き見て始めて蕭の斷罪狀を發見し爾後帳簿の檢査を行ひ遂に四萬元の不足額を發見したる始末なるが内二萬元は蕭が昨年より投機に手を出したる尻拭ひに費消したる額にて他の二萬元は上述の不始末が暴露に近づきたるを感じて毒皿的の腹にて持ち逃げしたるものなり而して

▲同吉長 鐵路局は今回滿鐵へ事務の引繼ぎを行ふ運びとなりたるため今日迄誤魔化し來りし帳尻も其後急に投機上の勝利も覺束なく遠からず自己の罪狀發覺さるべきをもつて先を制したるものらしきが又支那人間の巷說によれば同人は何れの方面かは不明なれども何事か政治的野心を有するものらしく二三の新聞記者とも聯絡し居たる模樣ありと云ふされば我が官憲は委託金費消橫領罪として起訴せんとの意向なるも支那側にては

▲國事犯 として扱はんとするものゝ如し猶ほ同人の行方は奉天方面なる如き形跡ありとて既に搜索のため出發せりとも傳ふれど何分秘密に附し居るため未だ眞を知るに難し

漁船十一顛覆
舞鶴沖の激浪

一日夜舞鶴港の沖合にて出漁中の漁船十一艘激浪の爲めに顛覆し乘組の漁夫は逆捲く怒濤に飜弄されに海底深く捲き込まれしもの數名あり八名も同じ運命の下に悲慘な最期を遂げんとしつゝある際折柄航行せる一汽船の勇敢なる水夫が逆へる荒波の中に身を躍らして瀕死の八名を救助せり(舞鶴電報)

刑事絞殺未遂犯
懲役十年に服罪

昨年七月二十三日夕刻窃盜犯人として逮捕され京城黃金町六丁目趙鉉方の裏路次にて俄かに捕繩を噛み切りて脫走を企て本町警察署の佐々村刑事と大格鬪を演じ刑事が下水溝内に足を踏み込らして墜落したる刹那に乘じて同刑事の頸部を絞めて絞殺せんとして果さゞりし兇賊なる京畿道水原郡太章面仁桂里居住の金宗烈(三)は豫て京城地方法院に於て公判中なりしが窃盜及び公務執行妨害殺人未遂として有罪の判決を受けしを不服として同覆審法院に控訴せしも相變らず有罪として此の程懲役十年の判決を受けしが愈々觀念して服罪するに至れりと

井戸に我兒を投げ込む
精神異狀の母親

原籍岡山縣都窪郡大高村字福井當時大和町一丁目八十九番地理髮業小泉左右平妻トミは去る三月一日の午後十一時前本年二歲になる可愛盛りの長女美智子を連れ何處ともなく出で行きしが約一時間の後悄然として只一人歸り來りたるより家人は

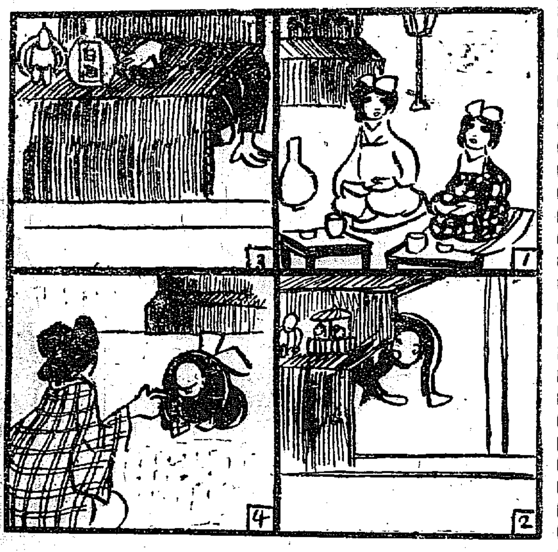
◈不思 議に思ひ兒供は如何にせしやと問ひしに彼れは某氏に託して內地に歸したりと云ふより益々不審を起し深く追及したるに井戸に投げ込みたる旨なるを以て一同大に驚き直ちに手別けして處々の井戸を搜索したるに同宅より約一町ばかり離れたる同町五一七番地菊田たか方の

◈井中 にて發見したるを以て直ちに鍋を以て引き揚げたるに美智子は既に全く事切れ居たり急報に接したる同派出所小林巡査は直ちに本町警察署と共に現場に至り之を檢視せるに鼻口等に少しも泥水等を吸ひ込み居らず只後頭部に一錢銅貨大の

◈打撲 傷と覺しきものあるのみなるより察するに井戸に投げ込みたる際何處かにて頭を打ち其儘絕息したるものなるべく目下大邱警察署に於て之が取調べ中なるが世の常の母親ならんには一寸の風邪にさへ只ならず心を痛むる頃なるに之は又何等の

◈悲劇 ぞと聞く者皆深き同情の淚を注ぎ居れるが其の原因に就ては目下取調中にして確言は出來ざれども各關係者の談に依れば右トミは本三日前より稍精神に異狀を來し居れる模樣ありて時々『美智子は

◈井戸 の中に居る』など口走り居たるより家人は皆細心注意し居たる由なれば定めし其後斯かる慘事を惹起するに至りたるものなる可しと(大邱)



讀者文藝(一等には五十錢の會話券を呈す)

物は附『にくいものは』

○居候の朝寢(一等) 京城明治町唐川呉服店 林 啓市

▲姑の皮肉 太平通 まさ子

▲小娘が吞む煙草 蛤洞 孤村

▲かれもちのかわまうけ 京城 清流生

▲狗逆の滑新館(先著) 鳥致院 一 鳳

▲にせてんぼう 京城 A・B生

▲電線切りの犯人 全州 拳 軒

▲ぶう〳〵さ音立てゝ走る自動車(先著) 太平通 光 枝

▲本妻の見た妾(先著) 櫻井町 晋次郎

風に柳か瓢簞鯰か
ぬらりくらりこ
◇それでゐて喰へない女 ◇千代本の新女將おふみ

『氣に入らぬ風もあらうに柳かな』といふ古人の句意を大悟徹底して居るらしいのは今度千代本を引受けた富美廼家のおふみ事葉山すゑだらう、しかし同人が今度進んで千代本を引きうけたのについては隨分客筋から或は氣遣かつたり內々危ぶんだりして居る者があるさうな又一面同人をよく知り拔いて居る者は富美廼家さんならお千代さん以上にやつて行けるですともいつてゐる。これには

◆◆花柳界 內でも其道の者になつて見なくては分らぬやうな所へ氣を配して前の千代本の女將も或る程度まで頭づいてゐる、兎に角千代本の新女將さはどんな女かさいふことが多少問題になつてゐるらしい、富久家や千代本の兩女將の樣に是まで派手な噂にのぼらなかつた爲に──同人の戶籍調べをして見るさ、同は博多の生れで取つて四十一の

◆◆年增盛 以前は堅氣な町家の世話女房であつたがフトした事から夫と別れ明治三十九年頃に仁川に來て一山に住込んだのが水商賣に入つた抑もの始まり。それから間も無く花月に這入つて切廻してゐる內に妾は田舍者ですから迚も押通す膽張りもし無知性が時の伊達。大久保明石の名時事など鍾愛されてトン〳〵拍子に出世して小金も少々溜まつたところから大正二年の春に旭町に置屋を開いた時には抱へさいつては僅かに二人位しか無かつたが今では京城花柳界の中心と成てる大小藝妓十四五人を擁して

◆◆二つを 爭ふ置屋になつた今では自分の置屋中での成功者と目されてゐる。本人自からは山出しを以て任じてゐるが、富久家や千代本の兩女將のやうに圭角が無いだけ瓢簞鯰の掴みどころのないやうにも目にゐるが如才のないことは殆んど天賦と言つてもいゝ位でいつも晴々しい明るい顏、人が何んと言はうと容易に腹が入る御やうりもつさい平氣な顏をしてゐる。そして御喋舌のやうに見せて決して然うでなく言つていゝ事と惡い事を腹の中でちやんと心得てゐるのなど年の功さも言ふべきで又同人が今日の成功を致へてした所以であるさいふ者もある。こういふのが

◆◆社交界 の一部を捕ける習慣になつてる、京城の花柳界に重きを爲すに至れば、この社會の浮華である命を通じての睨み合など大きに必要なくなることだらうさ太皷を打つておいてやる

容姿花の如き美人間諜(九)
きんまとスツールメル

スツールメルを首相に(=其價は百萬馬克(=忽ち四人組の強請に襲はる

伯爵夫人等は愈々表面立つて新聞を利用して大々的に單獨講和論を主張なさしめ自ら其の成り行きを見て居た當時未だスツールメルは首相ではなかつたが露國

◈外務次官 の要職に在つたので從て其の議論の材料も隨分澤山あつた其後夫人等の仕事は巧く進んだがウイッテ伯が盛に單獨講和促進を主張したのも其の時であつた處が伯は彼の樣な死を遂げたので伯の死は各方面に大なる打擊を與へた無論夫人等も大分累を受けたのであつた然るに

露國何時しか薄々夫人等の行爲に注目し出した

人々が現はれた第一ヴェラ、ワシルチコフ夫人が露都に居る事を

夫人等が此の運動に要した金は一億馬克であつたけれど獨逸から見れば安價なものと云はねばならない此に於て伯林政府は露國の政治上及び軍事上の諸計畫を知ること聯盟國よりも遙かに早く仕事は頗る捗つて行く等は却て氣味惡く感じた程であつた如何に露國でも愛國の士もあるものて夫人等の陰謀を付け狙て時あらば

◈一度襲來 して臭れんと窃に眼を輝しつゝあつた政治家も尠くはなかつた

◈露帝を誘ふて遂に首尾能く

夫人等の仕事も事毎に障害を感ずる樣になつて來た處が元初の夫人が計畫した通りラスプーチンをして皇后に通せしめ皇后からスツールメルをして首相の椅子に据ゑる事が出來た夫人に取つては非常の成功であつたが獨探講和の手に陷つて行くと共に其の影が薄くなりつゝあるは寧ろ悲慘であつた夫人等はスツールメルを首相に据ゑたのみならずプロトポポフを外務次官に任命せしめたのであつた而して

果して或日の事夫人等の四人組の強請はワシルチコフの家即ち夫人の邸宅を襲つて夫人等が莫大の金を投じて手に入れた證據書類を奪つたと云ふ大珍事が持ち上つた

日曜ボンチ 白酒
助太郎畫

僕坊の宅では正月に可愛らしい〳〵美代子ちゃんが生れたので姉さんのとし子ちゃんが主唱となつて今日のお雛祭に澤山の御友達を呼んで遊ぶ事になりました。雛祭りだからとし子ちゃんのお友達許りで僕坊の友達は一人も來ないので淋しくはあるし何か惡戯をしてやらうと雛段の下にかくれました。先程白酒を少々戴いて大變美味しかつたのでお雛樣に供へてある白酒を失敬しようと緋毛氈の下から手を差し延べ盃をとつて飲んで終ひました。そんな事とは知らぬお母樣とし子ちゃんのお友達も澤山揃ひましたのでお雛樣のお話を聞かせようと雛段の傍迄進行つて初めて盃に白酒がないのに氣づいて如何したのだろと私語きながら亦なみ〳〵と入れておかれました。暫くするど僕坊は亦候手を出して失敬しました、今度お母樣が白酒がなくなつてゐるのに氣が付いた時には二盃の白酒に醉ばらつた僕坊は高鼾で雛段の下で眠つて居たのでお母樣から大變なお目玉を頂戴しました。

燈ともし頃

日本と朝鮮とは昔から密接な關係を持つて居つたので御伽噺や物語りにも多くの共通點を發見する▲浦島太郎の如きも先づ玄界を越ねて朝鮮へ渡り釜山附近を中心として漁り歩いた浦島も朝鮮の山川風俗人情が餘程氣に入つたものと見えわ踊るのも打忘れて紅顏遂に白髮となるまで遊び廻つたものと思はれる▲傳說に浦島は龜に乘つて龍宮に遊んだとあるが釜山の牧の島附近の海中には今も尚ほ二重になつた眼鏡橋があるさうだ▲そして龍宮と云ふのは釜山一帶を稱したものではなからうかとの說もある▲それから濟州島土人の乘る船は木と木を組み合せて舳を立てゝあるがそれが龜の首を擡げたやうな形になつて居る▲浦島もこの船に乘つて來たのではないかしら、それを後年美化し詩化して龜に乘り龍宮に赴いたやうにしたものではないか▲一說に依ると浦島はその船で洛東江を溯り龜浦附近に居を構へたので龜の形をした船の名と浦島の頭字を取つてその地に命名したのではあるまいかと傳へられて居る▲秦の始皇帝が不老不死の藥を求めに臣下の徐福を蓬萊島に遣はしたと云ふその蓬萊島は固より我日本を指したものと思つて居つたが▲この頃考古學者の一部には當時蓬萊島と呼ばれたのは金剛山ではあるまいかと說をなすものが出たやうだ▲それから不老不死の藥と云ふのは鮮人間に愛重さるゝ山人蔘のことではあるまいか

自動車 集配人を轢く

運行八省金町四丁目松原方居住の郵便集配人小林次郎(三)を轢倒し右脚脛骨を折り其の他數個所に負傷せしめたるが右の自動車は所有主に於て……を要すべし而して前記運轉手李康德は京城某商店の雇人なる……

一等(五名)井上國松、白石重太郎、藤山鐵藏、同ひさ

二等(八十二名)竹島靖、澤井元吉、澤井みゑ、龍岡紀三郎、赤、由惠、同きく子、同米市、同みつ、福田佳太郎、恒元富男、水野梅之助、同なみ、同きく子、大野藤三、藤山登、藤山さた、森山秀夫、同まさ、同芳造、廣瀨さよ、若林浩助、名倉伍郎、寺田みつ、同ひさみ、永松清秀、中姉淵、福島五六、和田やゑ子、鹿本喜次郎、目加田平三郎、若村敬助、同かめ、兒島能之丞、何中村郎、小島梅、中村、川浦貞、同真、秦小太郎、谷口清之助、本田恒二、同さよ、吉田久、田中芳雄、同岩子、同かた、同喜代子、藤尉節次郎、高城信威、同きよ、光田百太郎、濱田元吉、同熊太、戶田一太郎、長谷川しゆん、何木ひで、佐々木く、安田寛一、遠藤秀、吉川寿大郎、木村寿、上野與作

課題及び募集規定

募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢會話券を呈す

天氣は 晴れ一時曇(三日午後六時迄)

宇治茶直接販賣

弊店は來客待遇と家庭御慰安に必要なる宇治茶を直接販賣して仲買人の多數を省く故最廉價也多少共續々御用命希上候

萬一不向の節は他品と取換可申候

御銘茶定價表(二百目ニ付) ◉玉露製 寶樹園 老の梅 桂の翠 蘭の香 旭松 菊の露 龜齡 相生 ◎煎茶製 桃山 製茶 井六 國の司 宇治の里 松喜 止摸 白 友白 白雲 折

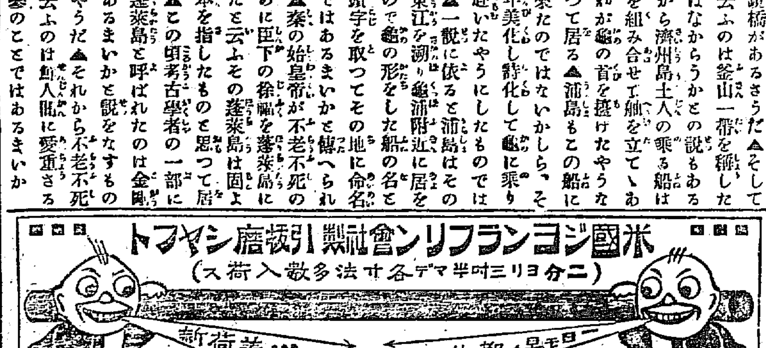
▲御注文は小包毎に送料 ▲金高壹圓以上御注文に限り

製造本店 山城宇治 營業所 京都七條 製茶問屋 井上六平

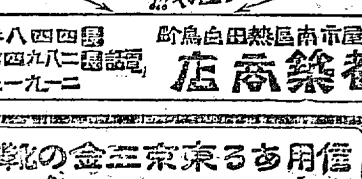
産婆生徒募集 福岡市水茶屋町 福岡産婆養成所 規則書郵送

金銀時計製作販賣 仁川本町

診察 自午前八時至午後九時 內科 小兒科 京城南米倉町 岩崎醫院 電話二七六一番


米國ジヨンフランリン會社製引札扇シヤマト
(二分ヨリ三吋半マデ各寸法多數入荷ス)
新荷着!!! 早ク都築商店へ!!!
名古屋市南區熱田白鳥町 都築商店 電話長四〇四八番 二八九四番 一九一一番

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 電話六三三番

信用ある東京三金の靴

ボックス革製編上靴 第一號金四圓五十錢 第二號金五圓五十錢 第三號金六圓五十錢 第四號金七圓五十錢
ボックス革製變化靴 第一號金四圓五十錢 第二號金五圓五十錢 第三號金六圓五十錢 第四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號金五圓五十錢 第二號金六圓五十錢 第三號金七圓五十錢 第四號金八圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄 送呈
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
以上の靴は精選せる材料を一般以上の技術を以て最も入念に製造せし品なり
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇番 振替東京七一一番

謹啓皆々樣愈々御清勝の段奉賀候陳者當富美廼家も御蔭を以て日々隆盛に赴き候段厚く御禮申上候就ては今回千代本儀病氣保養の爲め廢業致し候に付き妾儀其の跡を全部其儘引受け名稱も矢張り千代本にて少し重荷には候へ共富美廼家と共に從前通り營業致す事に相成候間此際一層の勉強を以て御最負樣各位日頃の御愛顧に酬ゆべく何卒相變らず御引立の程伏して願上候 敬白
京城旭町一丁目 千代本 富美廼家事 葉山すゑ 電話長一一三五番 二七七九番

都山流尺八指南 入門者募集 出張稽古始明 京城南山町二丁目 直門 佐藤都令

契約紹介員募集廣告

弊社は興產法と稱する興味ある方法にて內務省販權登錄勸業債券の販賣を致居候處當業としては都下最先の創設に係り其現狀基礎は左の統計により明瞭致居又近來各地に類似業者續々顯はれ弊害百出候爲今回帝國議會に之が取締法案提出され近く決定の上は玉石明に區分さるゝに至り本業發達の爲誠に慶賀の次第に付此際益々業務の發展を計らん爲左の要項に準じ契約紹介員を募集仕候

一、勸誘能力の自信あり又前科なき者

一、身元保證金等一切不要

一、營業案ハ報酬規定其他明細書は切手二錢送付申込の事 報酬月額見込五六十圓以上

東京日本橋小網町三丁目 國民興産株式會社

一、大正二年創立 資本金十萬圓

一、社長 子爵櫻井 重役 知名家勸業家八名

一、契約高三百廿四萬三千餘圓 代理店六百二十餘個所 勸業債券所有高六十一萬五千餘圓

一、最一等割增金當籤 本社取扱の分

一月 一千圓 第四十四回債券 東京本所區元町 佐々木秀明

一月 二千圓 第四十回債券 長崎市伊良林町 山口タネ

同二月 二千圓 同第六十七回債券 鳥取縣倉吉町 松井

……一日午後三時五十分頃……五丁目方面に向け疾走……加療中なるが生命には多分別條なかるべし……同四丁目三百十番地先きを進行……全治迄には約一箇月

◎連絡船上陸客 二日午前 一二等客 市川都三、今井寄吉、松原常同、加藤篤造……宮內宗太郎、同くにか、恒久彥夫、玉野かめ

●生活難の爲か 囚人が多い

監獄も生活難で 粗食多量主義で

四百八著の結果は 豆腐糟が常食となる

米喰ふ人間に生れて米が喰へぬとはよく〱の拙な生れに相違ないがどうせ監獄にも行かうと云ふ奴は人間の內でも碌な者でないから

◆豆腐糟 を常食として働らくのも好いかも知れぬ三度の食事を普通に食つてそれで居てお菜が惡いの飯が不味いのと贅を並ぶる連中には一度監獄生活をやらせて見るのも本人の爲めかも知れない此の囚人の生活狀態から見るならば世に營養不良等の贅澤病があるべき筈なく昔時ナザレの聖者が人はパンのみに生る者に非ずと云つて聖靈に生きよと呼號した實驗は多く知らないが

◆美味必 ずしも人に可からず粗食却て身體の健康に益する處ある奇現象の因を繹ねて見れば人は勞作に生きよと云ひたくなる囚人が今日何でも好いから腹を肥やせば宜いと云ふので粗食多量主義で豆腐糟を主食とし三切れの漬物や一椀の味噌汁或ひは牛骨を煎じた菜葉の煎物を菜としてそれに鼓腹しつゝ而も日輪を仰がぬ監房の中に働らいて

◆青い顔 もして居ないと云ふのは彼等に嚴格なる規則とあらゆる滋養强壯劑に優る唯一の勞働があるからである試みに最近に於ける囚人の健康狀態に就て左に其の統計を揭ぐる

年齢	人員	健康步合	平均體量
二十歳以下	二三	甲七 乙一三 丙三	一三貫七九〇
三十歳以下	九三	甲四〇 乙四三 丙一〇	一四、一四〇
四十歳以下	四九	甲一九 乙二三 丙七	一四、二六五
五十歳以下	二五	甲一四 乙六 丙五	一三、六五二
五十歳以上	一	甲一	一五、二〇〇

之を以て見れば人間は食物は不味の何んのと贅澤を云ふべきものでないがそれでも現在物價騰貴に苦しめられて一日に一度か二度を骨折つて食ふや食はずに豚の樣な生活をして居る鮮人の下層貧困者に較ぶると監獄の賄などは先づ相當のものであると云はねばならぬそれかと云つてそれぢや愿んな

◆饑じい 思ひをして苦しむよりも監獄に行つて食ふだけは樂に御厄介になりたい等と飛でも無い心得違ひで惡い事をする奴が出來ては困る現在の囚徒二百二十七人で一日に食ふ豆腐糟は何程かと云ふと先づ大抵二十五貫乃至三十貫それで十貫二十七錢で出來るから頗る經濟になるに相違ないが而も豆腐糟は安いのに比較すると頗る滋養に富むで居るとの事で馬車馬に喰はしたらよく嘶きよく走ると云ふので

◆荷物を 多く牽かする時には必ず馬の食量となる、まさか囚人を馬扱ひにした譯ではないが普通一般の家庭だも馬の食ふ物など贅澤を云はないで之も一つの滋養物だと思ふから物價騰貴の此際によい多く豆腐糟を喰つて腹を肥やすも好いだらう、倚序に囚人は此樣食物を喰つて什んな仕事をしてゐるかを附記して置く勿論外役と內役とがあつて外役に從事する所謂勞働者には飯の

◆分量が 幾分多くなるが其の種類は決して違ふ筈が無い今の處では築港の工事にも必要が無くなつたので全部監房で働らく內役に從事して居る其の區別は官役用夫と云つて炊事其他の雜役に從事する者が十二人其他請負業では帽子製造百四名麻裏製造六名地下製織十三名繩叺製造六十六名と云ふ數である之等が

◆營々こ して働らく作業の工賃に對しては其幾分かの步合は囚人の所得になつて貯金されるので如何な惰け者でも餘儀なく働らかされた揚げ句は何時の間にか金が溜まつて居ると云ふ具合で長い監獄住居の者には此の節の流行となつて居る監獄成金さへ出來ぬとも限らぬさうである（完―仁川）

◉留相場持直す

最近西比利亞地方の風雲險惡なるにも拘らず奉天市場に於ける露貨留布相場は著しく上騰を示し最近二月廿七日に於て百留布に付貨十七圓五十錢二月廿八日に於て十六圓五十錢の高値を現せりとれが原因は不明なるも目下奉天市場にては「奥地が騰いから」と稱し一般長ろ其の値あげに伴ひたるもの、如きもこは鳥渡理解し兼ぬる現象なり猶在留相場の最低價は昨年十一月九日の十一圓五十錢（百留に付）を最とし爾來高低常ならず本年に入りては更らに一月六七日の十圓六十錢より十一圓廿錢を唱へたる當時もありしが兎も角最近一躍して四五圓方を持ち直せるは一奇といふべし

◆魚は高いが今 一月の辛抱

△今年は暖いので▽

○例年よりも早く獲れやう○

昨年末以來魚價昂騰で鯛どころでなく寄肴さへ容易に食へぬので猫驚は隨分困つてゐるが何時迄斯んなに高いかは原因結果を調べると直ぐに判る

◆今年の不漁 は實際近年稀な現象で殊に內地の好景氣で釜山近海の漁獲物は其の大部分は內地に行つて鮮內に送り込むよりも倍も三倍にもの高價に賣れるので朝鮮內へ送つて來るのは頗る少量であるから勢ひ値が高くなる鯛の百目が八十錢や一圓も呼んで寄り附けそうにも無いのは即ち魚が無いからに依るそれで幾らか

◆仁川近海に でも獲れ出したら自然魚價の調節も出來ると云ふ事になるが今年はそれでも幾ら漁獲が多くつても例年の樣な安い魚を喰ふなどは恐らく出來まいと云ふ何故ならば一般の物價騰貴に伴ひて漁具が昂り薪炭も昂り米が昂ると來ては漁師も暮しに差支へるから從て漁獲物は割高になるのは當然であらねばならぬ

◆今の相場 では鯛一本でさへ三十錢以上もするので料理屋に行つても鯛の指身などは滅多に食へぬ失禮乍ら正月以來鯛を見ぬと云ふ家庭は頗る多いに違ひない、今年はそれでも幸ひな事には天候が非常に好いので例年よりも早く漁獲があるに違いないとの見込みである先づ三月の末頃になると早くも蝟島に石首魚が獲れ延平島附近の漁季に入ると仁川の漁況も

◆隨分賑つて來る四月に入れば潑溂たる鯛の味も左程の困難なくして食卓に備へる事が出來るだらう殊に今から好漁と想像されてるのは鱸で去年の小鱸が非常に多かつたのに見れば纔かに仁川近海の鱸は多いと見當が附けられて居る何にしても今一箇月三月の末になり四月に入る頃には今の樣な無暗な値は出さなくても魚は食へる事にならう（仁川）

◉平南の畜牛界

價格の暴騰と頭數の增殖

近時生牛の暴騰著しく其結果農家に於ても先高を豫想し手放すもの少く且つ昨年は一般に農家の懷合ひ潤澤なりしとに因り賣放つものなき狀態なるも一面に於て畜產獎勵の宜敷に依つて生牛の飼養數著しく增加し平安南道に於ては生牛の數大正五年末七萬八千餘頭なりしも現今八萬四千數百頭の多きに達せりと

◉鴨江材大活況

商圈益々擴大す

安東木材界の活況は最近に至り益々好調を呈し其の價格も殆んど底止する處を知らざる狀況なり是れ特產物の出廻旺盛期に入れる爲め滿鐵本線方面も自然貨車不足を呈したると時局の進展如何に懸念すべき所大なるとに因り各材木商は此の際北滿材の仕入れに多大の手控へをなし居れる爲なり殊に目下北滿方面の時局は極めて重大なるもの、如く何時如何なる邊より爆發せんも計り難き有樣なるにより先約束の不安著しく爲めに平年なれば鐵嶺方面迄の地は全然北滿材の市場視されたるにも拘らず本年は鴨綠江材により其の需用を充たすべき景況なれば茲に鴨綠江材の需用は更に一段の擴大を見るよりの注文は殺到し六月中の製材餘力は殆んど全部賣盡され新材下前の現在積數約七八十萬尺に是れ又殆んど賣切れの盛況を呈し相場は一月頭に比し約一割以上の高値となり居れるも猶ほ注文は幅輳しつゝある模樣なれば今一段と輸送上の便宜を得るに至らば鴨江材の需用益々增加を見るに至らん

◆米價の今昔

米價調節は刻下の大問題であるが之を今百二十年前天明元年の米價を基準として今日に至る高低を見ると其變動實に驚くべきものがある即ち白米一石の代價を現價に換算すれば天明元年は僅に四十三錢で寛政二年には二十九錢二厘の最低相場を示し其後文化元年に五十錢となり天保元年は不作にて六十九錢八厘に上り同七年大飢饉の爲め一躍一圓五十錢を唱へた、更に弘化元年には八十六錢七厘、安政元年八十錢二厘に復したが安政の末から慶應の所謂維新革命時代に當つて文明の曙光が動き初めたので米價も全く新時代の活況を呈し慶應元年は一氣に三圓五十九錢八厘に飛躍し更に明治八年には全國大水害の爲め五圓十錢と云ふ空前の記錄を現はし其後十年間は三圓臺を持續し二十年に入り又復水害で四圓三十錢を割りたるがそれより十年間は銀貨本位に貨幣の相場下り米價は自然に昂騰し明治二十八年には約七割高の七圓三十錢を呼び日露戰役當時は十三圓二十錢に奔騰し大正元年は二十圓を破し其後の標準相場は三十圓臺を最高とし十七八圓臺を持續し昨大正六年約二十二圓を稱へ本年は又もや二十五圓と云ふ高値を現し遂に米價調節問題を惹起する樣になつたとは實に驚かざるを得ない

◉西鮮棉の眞價

昨春來綿絲布の著しく暴騰せるに伴ひ原料たる棉花は天井知らずの高値を唱へ市場活氣橫溢せると同時に內地市場品薄を告げ朝鮮產棉花の移出益々旺盛を極めたる結果常に鮮價昂かりし西鮮棉花は一層の頭角を現し加ふるに相場の奔騰は農家の耕作を喚起し昨年の如き作付反別は七萬三千二十七反收穫高四百九十九萬七千二百五十斤即ち大正五年度に比し實に一萬五千八百二十三反百七十三萬四千八十八斤の增加を見るに至れり而して之等棉花は主として內地に移出されたるが今や西鮮棉花の眞價漸く內地市場に於て認められたれば本年の如きは作付反別に於て著しく增加すべく倘ほ在來種の改良をも計畫されつゝあれば向後の西鮮棉花界は著しき進展を見るや期して竢はざる所なりと某消息通は語る

◉滿洲商業銀行

今回資本金を一百萬圓に增資し其の稱號を滿洲商業銀行と改稱したる前安東貯金銀行は來る三月十七日臨時株主總會を召集し取締役監查役各一名を增員すると共に增資事務の經過報告會開催の筈なるが今回某重役の意見を聞くに今回の重役增員は增資の結果當然の成行なるを以て此の際日支兩國の經濟關係を一層密接ならしめ日支經濟同盟の一端をも遂行する意を以て支那人側より選擧すべき方針なれば多分支那人重役の就任を見るに至るべく增資事務は當該重役より報告すべけれど大體に於て極めて好成績なりし由

◉林野調查の再開始

平安南道に於ては嘗て多來龍岡郡の林野整理調查を施行中なりしが結氷中一時之を休止せしも三月一日より再び調查に着手し來月上旬中和安州の調查をも行ふべし

◆土地商租問題

奉天に於ける

奉天督軍は土地商租問題に對し赤塚總領事の抗議により表面該問題は圓滿解決に落著せるが如く裝ひ來りし何等懸案として殘り居らざるもの、如くなるも裏面に於ては其の主義方針は何等變更を見ず益々嚴重に該問題の進行を妨げつゝあり最近某方面より入聞する處によれば同省下各知縣に對して訓令を發し各個人所有の土券照に對し悉く『以此地照押與外人即作廢紙』の如き檢印を押捺し以て個人商租の防禦を布達し取締を勵行せしむる由

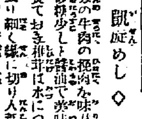
大連より

○滿洲の天地は近來俄かに緊張したれる模樣あり神經過敏なる株式界の如き種々の取沙汰と共に諸株の暴落一方ならず殆んど氣迷ひの姿なり信託株の時價八十圓に對し九十四圓迄買進みたる者あれど一方大豆仲裁々判の和解行惱みに氣挫け買進み連は聊か後悔し居るかの如き氣味あり錢鈔信託株は金建設の爲め最高六十五圓のものが一時二十八九圓迄落込みしが昨今又々買手優勢となり少しく頭を擡げつゝあり

○海運界に至りては殊に高調を呈し大連橫濱間豆粕運賃一枚七十錢見當なりしもの此の頃俄かに八十錢に騰貴し傭船料の如きは一噸三圓方暴騰し近海航路一噸二十五六圓にても供給少なき有樣なり時局の成行如何に由りては更に一噸三十圓以上の高調に達すべき模樣なりと之れと共に大連の主なる海運業者たる大連汽船、三井物產船舶部、松茂洋行、滿洲商船、後藤商船の如き何れも何となく多忙を極め居り

○特產物の氣配も亦商見越にして豆粕の如きは內地米價の好調と家の買進みに由りて一枚一圓三十錢見當のものが頻りに好氣配を唱へ一圓五十錢位まで買進むべき氣勢を示し豆油も米國市場の不況に伴れ一時惰氣を生じたるにも拘らず近來再び活氣を帶び來り原料大豆の氣配も商見越しなり大豆の仲裁々判にして落著せば驟て又取引行はるべしとの見込みにて更に刻下の時局と直接の關係なきも間接には其の影響を受けたるものは否定し難き事實なり

○價格は何處も同じことにて今更云ふ迄もなけれど米價の如きは仁川の角丸特等が三斗入十圓臺を拔き普通一等米も十圓臺を唱へ二三等米と雖も九圓以下にては買はれず之れに準じて薪炭魚菜漬物味噌醬油類に至るまで三四割乃至五六割方の値上げにて中流以下の生活難の聲益々高まりつゝあり若し時局の上に一變化を來さんか一層物價の暴騰を見るは免れ難き趨勢といふべく人心次第に緊張し來る



◇凱旋めし◇

五十匁の牛肉の挽肉を味りん醬油で少し鹹めに甘辛く炒つておき椎茸は水につけ柔くなつたら軸を去り細く線に切り人參の皮を剝き一寸位に細く切り牛蒡は皮をこそげ小口から薄く切つて茹で干瓢し水につけ……五分位の長さに切つておし牛肉を……椎茸人參牛蒡を所々に煮……次第に薄くなりましたら砂糖醬……へていゝのです……飯は米三合に水三合程を加減して……の御飯……

演藝案內

京城本町 大正館 ……「本町小町」……全三卷 ……「青年の浮氣」二卷 ……「鐵の爪」四卷 ……全六卷 ……大正の孝女（全二卷）……

黄金館 電話二二六六 ……三月一日より大寫眞提供 ……

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 ……座語樂會 ▲落語（近江）▲落語（三輔）▲手踊（歌六）▲落語音曲（花輔）▲落語（右圓遊）▲語、音曲（圓都）▲大切（物出）入場料は……

有樂館 ……活動寫眞常設館 電話（階上）五九七番（階下）二〇五番 ……新派劇……黄金寶 全四卷 ……米國……社會劇 惡魔の勘定日 全五卷 ……都……時代劇 ……外史 慶安太平記 全五卷 ……

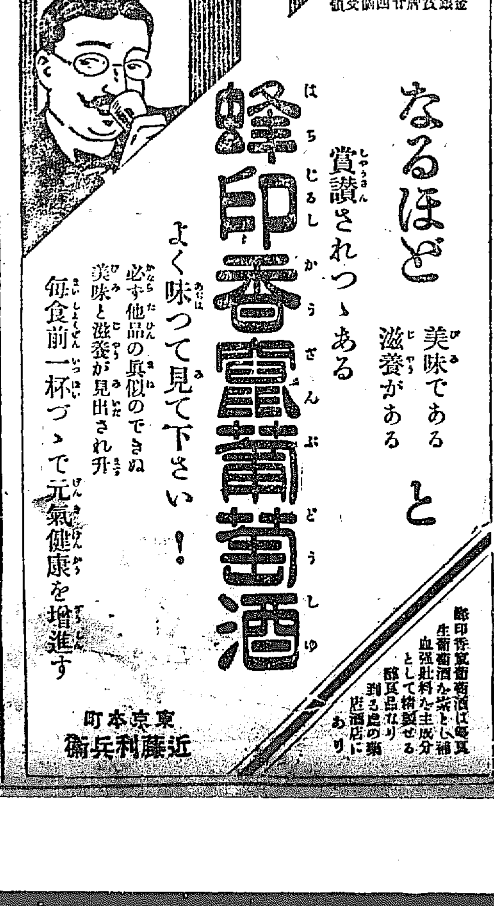
東洋捕鯨株式會社特約販賣店 鯨問屋 香月商店 京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番

◉特約店希望の方は申込あれ

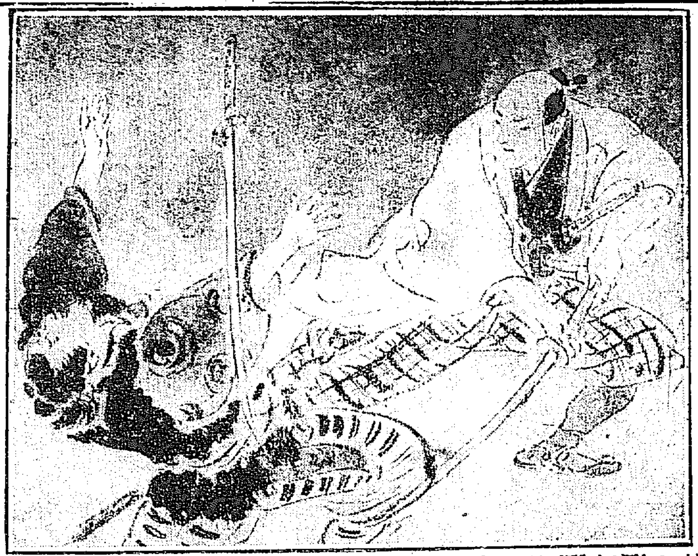
安蘇善四郎著 朝鮮鑛石學及採鑛法 發行所 ウツボヤ書籍店 京城本町二丁目 電話番號二二七 振替京城貳三三 四六版 二百五十頁 並製金一圓廿錢 上製金一圓四十錢 送料 六錢

內容大要 △地質學 岩石總論 火成岩水成岩現出の狀態 岩石各論 地殼の發達 △鑛物通論 鑛物の形態 鑛物の物理的性質 成生及現出 分析及鑑定 △鑛物特論 造岩鑛物 鑛石類 脈石類 △探鑛法 鑛石の露頭 …… 隨鑛採鑛 …… △地質鑛石 地質大要 鑛石の地質的分布 各道の地質及鑛山 附錄 ▽鑛石分析及鑑定表△ 朝鮮鑛業令△

朝鮮總督府編 朝鮮漢文要科 植物調查書 四六判半裁 定價九十錢 送料六錢
朝鮮學術研究會編 中學商業 女學高等 入學試驗問題集 四六判二百頁 定價五十錢 送料六錢
前東京高商教授切田太郎 中央日本大學講師古館市太郎共著 改訂五版 朝鮮語學捷徑 三月一日發行 改正定價八十錢 送料八錢
常平庵主人閱 朝鮮古錢價格圖鑑 近刊
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 大阪屋號 京城日報社代理部 大賣捌 松堂 日韓書房



▲川柳 ▲都々逸 ……見逃告者には五十錢……住所姓名を明記に限る▲……京城日報 ……



塚原卜傳

第五席　悟道軒圓玉口演

手下の者が打仆された様子に飛出して来た山賊の頭領大山吉郎太夫、此奴は三好長慶の浪人で腕に覺わの剛の者、四尺に餘る强刀を提げて戸口へ出て見ると月影に見ゆる塚原小太郎 吉『ヤア汝れ青二才の分際で小癪な腕立、仕事の邪魔をするからは生しちやア置ねえ覺悟をしろ』と振被つた一刀、眞二ツと斬下して來るのを體を開いてパチーリ木劔で引拂つたに依つて緊がの吉郎太夫ド、、ツと跡へ退がり 吉『此奴仲々の技倆、其儀ならば』と二度目に斬下して來る處を飛交へて入身になり横に引拂つた一文字、吉郎太夫の腕を健かに打つ。太刀は拳を外れて宙に飛ぶ。南無三と退がる處を少しも隙を與へずして飛上ると小太郎勝誇、エイツ打下した木劔、哀れや大山吉郎太夫腦骨微塵に打砕かれ、アツと一聲打仆れる 小『ヤア家内の者安心いたせ、盗賊の張本は拙者打殺したり』と呼はる聲に殘りの賊共は大に驚ろき、命あつての物種と右往左往に散亂する、仁科與四郎家内へ這入り、一同の縄を解き漸々の次第と仔細を語つたから主人七太夫を初め地獄で佛に逢つたとは此事と其喜びは別段、其中娘も其れへ這入つて代る〲に禮を述べ、手を執つて喜び合ふ、善事を施した其心持は何ともいへぬもの、[illegible]主從も共に悦び其夜直ぐに郡奉行所へ右の仕末を届け吉郎太夫初め山賊共の死骸を片付ける左右する中緣の貸家から駈付て參りまして父の惣右衛門が途中で娘を攫はれたといふ事を聞いてスグに届けたから新堀村の村役人も馳付け何れも小太郎の技倆に舌を捲いて驚きました、さて一同塚原は命の親と尊敬一方ならず、翌日嫁も滞なく祝言いたし、塚原にどうか之を御緣に久時御逗留を願ひたいといふ、其志は嬉しいが何分塚原は大事を抱へて居る身であるから辭退して出立といふ時に、

小『さて仁科、之まで供をして呉たが之から拙者は一人で羽黒へ登りたいと思ふから御身は當家へ止まつて貰ひたい』之を聞いて仁科が 與『若様其れは不可ません、折角此處までお供をして來て、今と成つて羽黒へ登られぬとあつては大殿やお兄上様に申譯がございません、是非私も御一緒に登山して御師の弟子を對手にいたします所存 小『イヤ其れは不可ぬ、塚原が國の門入共に恐れをなして弟子を連れて登山したとあつては世間の聞えも如何拙者も上泉の門下にて上に立つ身他人の助力を受けては面目ないから是非一人で行く、惡く思はずに止つて呉れ、若し不幸にして拙者が羽黒の山の露と消えたる時は骨を拾ひに參つて呉れ、遲くも明日の夕暮迄には下山する若し夜に至つても立戻らん時は拙者の一命は亡きものと思つて呉れ宜いか 與『ハイ、其れでは若様どうあつてもお一人でお登りになりますか 小『アヽ一人で參る……』之を聞いて七太夫初め家内一同事情を聞いて居りますから心配して〇『其れでは途中まで案内者を……』といふのを堅く辭退して支度も輕々しく、路は家内の者に聞きましたから大丈夫と、緊がは塚原小太郎少しも恐るゝ色なく、別を告げて唯一人其日の晝過に手向村を出て、二里半ある羽黒の坂路を登つて參りました。梵字川の水源を尋ねて來ると間もなく向ふに小高い森が見ゐる、即ち曾和川の洞大黒堂でございます、總て此邊は大難所で人通りもない場所、所へ向ふから一人の樵夫年の頃六十五六の老人であるが薪を背負つてスタ〲坂を下りて來たが小太郎を見ると立止つて 老『モシお前様は大黒堂へ行きなさる方ぢやござりいません』かと聲を懸けた。

三月五日九星

舊正月廿三日辛亥　本命九紫南納大安

△九紫 爪弾きさるゝ事有日盡で新事見合西方は吉賭飯南△一白 眠合になる事有日新事手控後事は吉女子は行儀を守るべし△二黒 親戚の日轉居行商入學求職建築嫁娶取金融等吉萬吉△三碧 功名を顯す日轉居入學皆吉女子技藝により立身を爲す大有望の日也△四緑 役向の日轉居開業入門弟子引出建造船舶種苗を求る等皆吉△五黄 大利の日轉居入學旅行名弘建前求職金件探し吟萬吉△六白 一寸諍を要する日新事手控後事は吉小兒衛生注意の事△七赤 不得要領の事有日新事手控後事は吉萬入念にせらるべし△八白 大活の日轉居出漁求職名弘入學金件家作婚禮入組の和を計る等萬吉

人參エキス
京城本町壹・電話一四八〇 一八七〇番
津村兄弟商會

最上清酢 日本一 マルカン印
ヨ ほまれ味噌
最上醬油 龍
日本醬油株式會社
京城出張所 電話二四五番

大正式製麵機
實驗用大割引 本機は事業として最も有利二十種の製麵自在也 説明書進呈す
稻扱製粉麥搗切搗バリカン牽縄其他金物農具類 元價表送呈す
東京本所長崎町一六 日本發明與商會

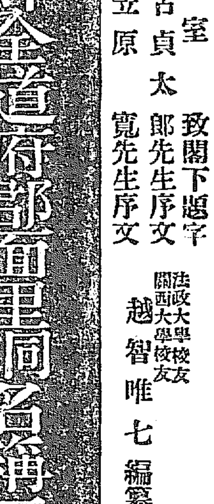
飲過ぎ●食ひ過ぎ消化不良りういん胸の痞へ慢性胃病
價 十五錢 卅錢 五十錢 一圓 二圓
本舗 大阪江戸堀 猪飼史郎藥房
各藥店にあり

廣告

るいれき
永年苦しむ方も手術せず肥大せる瘰癧をも委縮消散せしめ後尿に混じて體外に出す良劑あり郵券二錢封入者に詳報す
東京芝高輪北町 三救堂

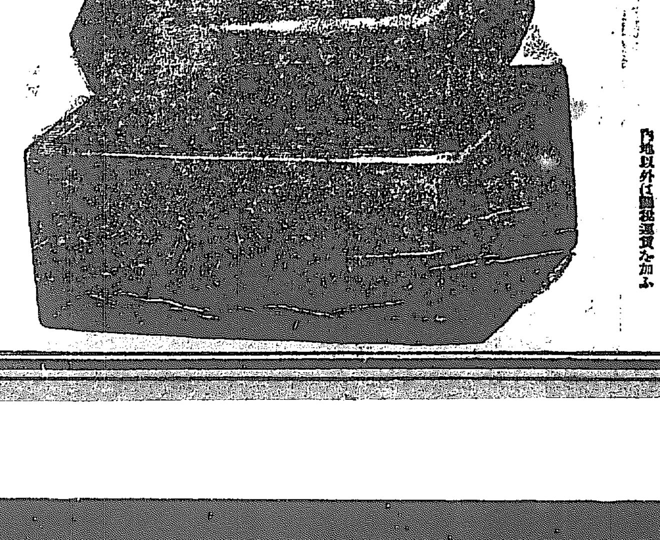
米國製 十四金ペン 特殊創案
自働インキ合装置『パインビジネス』ペン
定價 金壹圓九十五錢
進歩的經濟的文房具の需要日に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金『ペン』先を装する軸エボナイト製に到りては唯『パインビジネスペン』あるのみ尚装置せし『ペン』の背後に密接する特殊創案の嵌入物によりて金ペン先耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の商等文具にして各銀行、會社、官廳より御用陸續たり

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士 加古貞太郎先生序文
財務韓國財政顧問附官 小笠原寛先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵税十八錢
本書は府郡廢合の整理を既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たる道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西曆の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戸數、道路里數、各道の廣袤、交通、産物名稱、舊跡、温泉其他の概況を掲げ
本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くべからざるの必携書なり
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話三三六・六六〇・構内一八番

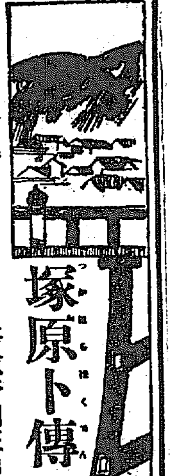
登録商標
滋養强壯 芳香美味
◎蛇の目印ポートワイン


（現品縮寫圖）
本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を増し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり
賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舗、雜貨店にあり
【類似品あり登録商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】
發賣元 洋酒食料品鑵詰 煉乳家庭藥雜貨 直輸出入商 大阪市東區高麗橋貳丁目 松下善四郎
電話本局一八五 長一八六 長八二〇 電信略號マツセ 振替口座大阪一六

◎ミツワ石鹸
純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず更に『フェノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき。是を化學上の純石鹸なりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ずべからず。
ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、尚左の性狀を具備す
一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。
故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹸なり。

◎ミツワ水石鹸 定價 大壜金五十錢 小壜金三十五錢 内地以外は運賃を加ふ

▼賣捌―全國到る處の化粧品店。小間物店。藥舗。洋酒食料品店
ミツワ石鹸 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス
發賣元 東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、醫藥品、石鹸、香粧品、小間物問屋 登録商號 丸見屋商店
電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 京義線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京仁線（仁川行） 京元線（北行） 同（南行） [illegible]



第三版

…の見地に就ては捕獲船常陸丸の[illegible]…街に於て普通の難破と認むべき確[illegible]…し船主及び荷主は戰時保險の支拂ひを要求すべし而して常陸丸の船體保險金は三百五十萬圓にして積荷に對する保險金四百四十萬圓、[illegible]六百三十二萬圓が政府の補償[illegible]き當然の負擔となる也[illegible]に於ては倫敦支[illegible]よりの[illegible]ち保險會社に保險金の支[illegible]

最近に於ける我が輸出綿絲布は著しく[illegible]來の沈滯を破りて漸く活躍の兆現れ既に印度行綿絲はマンチエス[illegible]

△自然支那在荷にも影響

[illegible]十月に及び[illegible]して天津方面には既に綿絲の約定[illegible]を示し[illegible]大阪方面の[illegible]も先高見越にて在荷を[illegible]且つ目下斯界一般に[illegible]

△愈々支那輸出の活躍し[illegible]十手以下の[illegible]所謂品[illegible]底の爲め近く[illegible]近に於ける綿絲中絲の輸出[illegible]更に活況を呈し而もこの[illegible]

京城日報

三月四日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金六十五錢△郵税一ヶ月金十五錢△郵送は前金に限り△三ヶ月分金二圓△六ヶ月分金四圓△郵券代用は一割增
廣告料金　△五號活字十五字詰一行八十錢△二號七字詰一行一圓六十錢△三號[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話番號　編輯用三四五番　二六四番　營業用三三六番　一六一番　振替貯金口座京城三〇〇番

帝國の危機（上）

社友の一人

△悠々たる哉

獨逸は日一日と、極東の空に濃厚となつて來つゝある。此儘にて經過せば、獨逸の飛行機が帝都の空に舞ひ、獨逸の潜水艇が日本海內に躍るも、決して絶無の事ではあるまい。否な寧ろ有無の問題にあらずして時日の問題であらう。所謂る霜を履んで堅氷臻るとは、即今の情態である。斯る危急の場合に際して、吾が當局者は如何なる施設を爲しつゝあるか。彼等は恰も庚申塚の三猿を學んで、見ざる、聞かざる、云はざるの態度を持して居るかの如く思はるゝ。而して之れと同時に、議會にても、多少の質問、議論等はあるが、それも一應の小手調べ位で、兵鋤勝負の氣分などは少しも見ねぬ。悠々たる政府、悠々たる議會、若し吾等をして敢て一轉語を下さしむれば、悠々たる世間と、云ふべきであらう。悠なる哉、悠なる哉、世界大戰爭の眞中に、極東焦眉の急を告ぐる眞中に、如何に泰平の氣分は漲ひつゝあるよ。予は國民新聞が、一月一日の劈頭に、本年は、成金氣分を止めて、戰爭氣分になれと警告したる言葉を、今更痛切に感ぜざるを得ないのである

△露國の瓦解

昨年三月以來、露國の政變は、走馬燈の如く、惡より最惡に進み、最早やその奥底に達したと云うてもよからう。英米兩國の論者は素より、吾邦にても幾多の應聲蟲は、之れ民本主義の勝利である、露國改造の曙光である。甚だしきは、吾邦にも斯くありたしと云はぬばかりの口吻を、洩らしたるものさへあつたが。一時露國のクロンウエルと謳はれたる、ケレンスキーも泥人形のクロンウエルであり。今やレニン、トロツキー等の天下となり、彼等が金科玉條たる無賠償無割讓の主義も、何時の間にやら拋擲し、國を擧げて獨逸の云ふが儘に屈從するの有樣となり。而して獨逸は恰も張儀が始めに商於の地六百里を楚の懷王に與ふるを約し、後には僅に六里と誤魔化した如く、露國側が講和條件全部を承諾すると云へば、更に追加の條件を提出し、その返事も待たず、又た休戰條約にも頓着せず、遠慮會釋なく兵を進め、今や一方は露國軍の根據地たる、レヴアルを占領し、一方は既にペトログラードの南方七八十哩の處まで進んで居る。露都が獨軍の手に落るや否やは、既に旦夕に迫つて居る。併し問題は、落ちても、落ちなくても何れにしても別にある。即ち露國は如何なる形式の下にせよ、全く獨逸の保護國こなりつゝある事である。或は七八分通りは、既になつたと云うても差支なからう。而して此の事情は、實に容易ならぬ大影響を、吾が聯合軍側に與へ、殊に吾が日本帝國に與へたのである。知らず、今日でも尚ほ露國の此の狀態を祝福して、日本も何うか露國の眞似をして欲しいなど、公言し得る徒輩があるや否や。

△聯合軍の違算

露國の瓦解は、十八世紀の末に於ける波蘭の瓦解よりも今一層笑止千萬である。丌は兎も角も、之が爲めに聯合軍の目算はガラリと外れたのである。有體に云へば、聯合軍側は昨年の春季に於て東西雙方より獨逸を壓迫し、一擧して勝敗を定め、遲くも昨年一杯には戰を片付けるつもりであつた。然るに昨年の三月露國の革命以來、茲に大なる違算が生じて來た。英國の總司令官ヘーグは、昨年の春、佛國の新聞記者に向つて、戰はない前の勝利話をなし、その鼻息頗る荒かつたが、愈々實戰となつては、云うた所の十が一も仕遂ぐることの出來なかつたのは、當てにした露國と伊太利とが、當てにならなかつたからであるとは、若くい申譯ではあるが、亦た若干の事實である。

元來聯合軍、殊に英國側の戰略は、獨逸を[illegible]までも持久戰を以て、[illegible]めにするつもりであつた[illegible]となつては兵糧攻に[illegible]英國が、却つて兵[illegible]攻められ、獨逸は戰爭

露國に失うたる所を米國に得て餘りあるや否や公平に考ふれば、今分では得失相償はぬこ云ふべきであらう。何故

以前も同樣、今後は露國の方面が開けたが爲め、入用の穀物は、勝手次第に取込む手筈となつた。斯る次第であれば、聯合軍の戰略は、根柢より覆へされたと見ても差支ない。尤も昨年四月以來、米國が聯合軍側に加入したのは、非常なる强味を加へたに相違ないが、なれば、開戰以來、事實に於ては米國は寧ろ聯合軍側に立つて居た。彼が參戰したとて、隱然の援助が、公然となりたる迄である。又た兵力の援助としては、それが愈々物を云ふまでには、早くとも今より一年の後であらう、孰れにしても米國の加入、不加入に拘はらず、

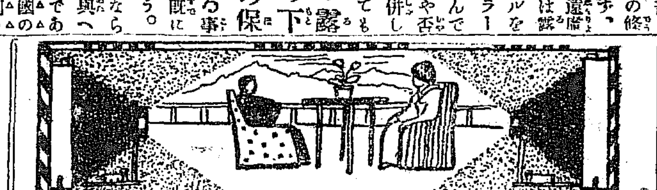
月以內には英國は屈服すると豫測して居たが、一年經つても何ほ屈服せない。若し違算の番附を作らば、孰れが優等なる違算者であるかは、容易に判斷することが出來ぬ。併し他人の事は暫らく棚の上に揚げ、吾が聯合軍側の違算に就ては、吾々はその影響の重大なる

△帝國外交根柢の破壞

露國の瓦解は聯合軍側に取つて大打撃である、大損害である。要するに聯合國の戰略、及び之に關聯したる攻略は、根柢より破壞せられたものである。

違算を數ふれば、獨逸方面にも斯[illegible]なからぬのである。ヴエルダンの攻擊も、五十萬の死骸の山を築いて、遂にその目的を遂し得なかつた。踏んでも蹴つても立つまいと見縊つて居た米國が、猛然と立つた。潜水艇戰を開始すれば、三箇

[illegible]戰を自覺せねばならぬ。殊に吾日本帝國に於ては、日英同盟と日露協約とを以て、外交の兩輪としたのである。然るに我が極東に於て、或る意味に於ては寧ろ英國よりも頼みとしたる露國を失うたのである。大正五年七月、本野子爵に依つて結ばれたる日露協約は、當時の大隈內閣が、鬼の首でも取りたるやうに手柄とし、之が爲めには其々論功行賞まであつたのであるが、昨年革命黨の政府は、その虎の子同樣秘密にされたる條項までも、これを世間に暴露し、之が爲めに我が日本はよき面の皮を晒され、英國の新聞などよりは、日本が露西亞と武力的協商を爲し、以て第三者の支那に於ける干涉を拒絶せんとするものと認め、少からず厭味を云はれて居る。それは兎も角も、吾が本野外相の如きも、何故に寺內內閣に外相として推薦せられたるかは、予の知る所でなけれども、少くとも彼が露國通であり、又露國宮廷の信寵を得たるが爲めに、殊に日露協商を以て、極東外交の機軸とする時節に必要の人物と認められて居つたからであらう。然るに今となつては、本野外相の株券も、露國と云ふ大會社の潰れた爲に、殆ど全く物を云はぬと云ふ事になつたのである。本野子爵一個の得失は、吾等の關する所でないけれど、吾が帝國が極東に於る國際政策の根柢の、敢て全部とは云はざるも、大部分を破壞し終られたるは、實に不幸と謂はねばならぬ。併し幸にせよ、不幸にせよ、何れにしても、吾邦は此機會に於て、更に外交の方針を根柢より立て直さねばならぬ危機に迫つて居るのである。此の意味に於ては、石井ランシングの協商なども、若干の意味はある。併しこれは只だ日米誤解の幾部分を除いたと云ふ迄に止まつて積極的に何等の効果も、期待することは出來ぬ。



社告

巡廻寫眞部愈出發

地方愛讀者各位の愛顧に酬い且つ御便宜を圖る目的にて組織せる吾社地方巡廻寫眞部は左記場所及び日程を以て愈々出發御用命に應ずる事こ致候間部員巡廻の節は陸續御下命被下度希上候

■第一回撮影區域　平安南道、平安北道の兩道を一區域こし平安北道寧邊を中心こして東西二十里

■撮影日程　三月五日より廿五日迄三週間

巡回撮影寫眞部員　武井延太郎

京城日報社

遊支偶錄

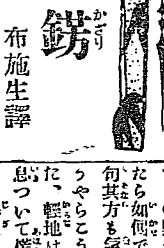
蘇峰生

（四）自治は自衛也

大國を治むるは、小鮮を烹るが如しとは、支那に於て、特に其の眞理なるを認む。此の意味に於て、吾人が所謂る各省自治、聯邦制度の適用は、最も機宜を得たるものと思ふ。斯くすれば南北分裂の危惧もなく、幾多の小英雄、小政治家、各々其の所を得て、其地に安ずるを得可し。勿論此が爲めに支那の天下は、永久に泰平なる可しとは云はず。相ひ變らず中央政府に立て、權力を占ふ者も、出で來るならむ。されど是れ唯だ中央の政局丈に止まりて、地方には何等影響を及ぼさゞる可し。若し地方自治が、確實に行はるゝ日には、中央政府より其の權利を侵蝕せらるゝ心配もなければ、外國より其の領土を奪掠せらるゝ虞もなし。自治は即ち自衛也。此の如くして支那の領土保全も、始めて空言たるを免がる可き也。世界の氣運は、到底小國の存立を容さゞらんとす。而して恰も大軍の出で來る如く、大砲の出で來る如く、大商船の出で來る如く、大家屋の出で來る如く、大國も出で來りつゝあり。英國が世界の各所に於ける、補民地、領土等を、打て一丸となし、茲に固形的の大英帝國を組織せんとするも、此の新傾向の徴證として見る可し。斯る場合に、南北對立抔とは、時代後れの話也。さりとて本來何等の準備もなく、素地もなきに、隣邦たる日本に模倣して、中央集權の政を施かんとするも、自から據らざるの、甚だしきものにあらずや。行ふ能はざる中央集權を、強ひて行はんとするは、是れ分裂の端を啓く所以にして、大國を維持せんと欲して、却て小國たらしむる也。されば極端なる中央集權派は、極端なる分立派と、其の思想は、相ひ反して、其の到着點は、期せずして同一也。即ち中央集權によりて、支那を大ならしめんとするは「支那を小ならしむる所以也」

錺

布施生譯



八

君の方はおろりとさう云ふ飾匠の顔を眺め『さうですかい、誰方の御註文でそれ程の細工をしやつたのに』。詰るやうに問れても輕地は平氣なもので『いゝえ誰方の御註文でもございません、之は私が自分の爲に作りましたので』『自分の爲にだつてさうして又こんな物を自分の爲に』碧の方ばかりか窓井學士も此疑はあつたと見ね答を促すやうな眼を飾匠に注いだ、輕地は雜作もなく『御不審は御尤でございますが私は元來自分から好んで錺職になりました者、極上飛切の金銀珠玉を撰びまして、こんな飾を暇にあかして作上げましたのは謂はゞ私の道樂でございます、拵上げまして、仕事場に置きましたのが何時か見ねなくなりまして——』『何も終らず窓井女學士は喜の色を顔に見せて『あゝそうでしたか成程分りました、それでは何卒受取つて下さい實はこう云ふ理由で私の手へ這入りましたので』『言つて學士は誤解のないやう仔細の事を話して聞かせた、輕地は神妙に聞いてゐたが聞終ると汗を額に浮かせながらもぢつと自分の手に成つた其飾を眺め俄に氣がついて周章て、眼の前の雲か何かを拂除けるやうに二三度激しく手を振つてさてばつたり學士の前に膝をつき『どう致しまして飛んだ事をどうして今更私が頂戴致して歸られるものですか、之が貴下樣のお手に入りましたのは畢竟天が貴下樣にお授け下さつたと申すもの、貴下樣がお使ひ下されば、それで私も本望でございます、さあ改めて之は悉皆貴下樣に差上げますから何卒御受納下さいませ』。言ひながら飾の筐を押付けるやうに差出すのを學士は固有の愛嬌を見せて優しく斷り『まあ滅相もない、此まあ委びた腕にどうして其腕輪を、此いつも包んでゐる首にどうして其首飾を、いゝえ之はもつと奇麗な花の臉の可愛らしい方がお所有になるもの』私はどうか御免蒙りましやう』。しかし其樣事で錺職は承知する男ではない、双方から押返して二三度も爭ふのを君の方は見兼ねたか仲に立て『何ですね、物を差上げると云ふに何もそんなに自熱にならなくても』。碧めながら學士に向ひ『先生も亦強情な、そんなに若い娘のやうに含羞でばかりゐないで、折角人が親切に差上げやうと云ふのですもの默つて貰つてお置きになつたら如何です、ねゝ輕地其方が結句其方も氣持がいゝのに』。飾はどうやらこうやら學士の手に收まつた、輕地は吻と安心したやうに大息ついて慌しく立上りとつばくさとお辭儀をすると周章て往つてしまつた、餘りばた〳〵やつたものだから卓の上の茶碗が顚倒る騷であつた

●小火　三日午後七時二十二分[illegible]は駆け付けり（東京）[illegible]られたり

櫻印
學校用机　學校用黑板　西洋家具
取次販賣店募集
朝鮮龍山　松村工作所　電話 七一二 一八六

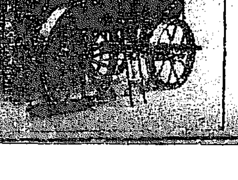
淑女畫報
三月號　定價三十五錢　郵稅二錢　東京　博文館　振替東京二四〇
●幸福なる婦人…大町桂月
●附錄の健康が保たれる…南博士
●婦人評判 一網打盡…紅白十手
●近來の運動（健康の研究）
●謠曲道樂の名流婦人…西川光次郎
●日常生活の節約すべき要點…栗塚槇子
華麗なる畫報　四十頁
●新挑オフセット大判口繪…比佐
●各宮妃殿下と三婦人の新作會
●東宮殿下と久邇宮女王殿下
●李王世子殿下の御稽古
●久邇宮家のお雛祭り
●雛壇…勝伯爵家と竹屋子爵家の
●珍趣向假裝會（土佐婦人會）
●玉葉門下と京都閨秀畫家の試筆會
●婦人の柔道（女高師生と藏人）
…よみもの…
●大石妻お石（忠臣藏七人女）…青々園
●軒端の荻（源氏物語）…日向きむ
●白縫姬（歷史小說）…鈴木鼓村
●活動小說 海に免かれて（比佐舊）…松太郎
●家庭小說 光の門…小栗風葉
…つゞきもの…
其他　△金魔小曲（晶子）…△子供の心の病氣　△雛祭り（夫佐子）…△正子の鰹　△化石の白梅（愛水）…△玉藻伯夫人　△自白殺の生活…△婦人界參照外數種

月刊　農蠶之研究
景品銀時計其他二百名　振替東京二七六三　東京本所長崎町　農蠶研究社

中外新論
三月號　中外新論社
▼歐米の國家主義、統一主義、日本の個人主義、民本主義…（內外政治思想闡明）主筆 小松緑
國家興亡の機　要　建部博士
元帥號交換と日英關係…蜷川博士
▼現代政治の根本問題…小山東助
▼學制改革案價値…三宅博士
▼現內閣と對露政策…大庭柯公
昏迷せる論理主義思潮…三井甲之
議會の影武者表…武白頭山人
▼第四十議會の印象…木舍生
教界漫言（異宗僧侶の還俗○僧侶と家族制度其他）…高島米峰
岡牛事件の根本的批判…江木冷灰
中外雜俎（博士の無學△岡崎邦輔君と大和屋お元外數件）
小說　老僧…上司小劍
小說　高架橋…長田幹彥
悲劇　祖國の爲めに…生田鑑湖譯
世事　人事（植民人物養成△我飛行界△外人の見たる日本人等）
慶應早稻田（兩大學と…）…早川治
國風の汚隆（教育革新の第一步）…鐵
大倉喜八郎論（安田善三郎、金杉英五郎、林毅陸、早川千吉郎、鄕誠之助外數名士）
『皐亭と杉山茂丸』…無星通人
露國前皇后の秘密（廿三年間露后に仕へし女官長の直話）
▼衛生上より見たる春季…小山田博士
▼浮沈傳（少年立志の卷）…子子子
さすらひの女
…形見の萬年筆　松崎天民
モンロー主義と英國同盟（英和對譯）

林野拂下公告
一、京畿道抱川郡永中面[illegible]
一、面積、百五十二町六反二畝歩
一、此ノ生立木、針葉樹新材
一、入札保證金ハ各自見積金高ノ百分ノ五以上
入札希望ノ者ハ京畿道第一部勸業係ニ就キ事項ヲ聞覽スヘシ　入札ハ抱川郡廳ニ於テ三月十五日午前十一時開札
大正七年二月廿七日　朝鮮總督府

ポーテブル　エンジン



實馬力十三馬力　常用汽壓八十封度
右英國製中古品賣渡
蒸汽機械製作　龍山元町二丁目　加藤鐵工所　電話四二三

京日案內
普通　一回前金…五十錢　番外　一回前金…
△申込後中途廢止の節は料金不返△六回以上の掲載は特に…△御原稿は必ず…

普通
◉藥劑師備入　携帯來談あれ　希望者は履歷書　京城明治町一丁目　高麗商會　459
◉牛乳配達人入用　蓬萊町四丁目　東亞牧場　456
◉子供貰ひ受たし血統正しき容美にして入籍無者　龍山錦町十番地　井手　460
◉助手藥局生看護婦入用　希望者本人來談　仁川　松本病院　453

番外
◉勸業債券買入　日本勸業銀行債券月報社値段同　京城西小門町　日光國會社　電二八三一番　410
◉外務員募集　二十五歲以上履歷書持參午前來談　明治町一丁目　東京國債　457
◉事務員及見習員採用　但高等小學卒業以上の者にして一年以上勤續し得る者五名　京城長谷川町　朝鮮製藥合資會社　458
◉募集　藥劑師調劑手及見習看護婦　希望者は履歷書携帶至急來談　京城明治町二　久技病院　451
◉社員（內鮮人）募集　希望者本人來談又は履歷書送れ　京城本町四丁目百三十三番地　電話二一七三番　人事　452
◉はねつき うちみ くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　311
朝鮮語　英語　科　新學期生徒募集　朝鮮語は諺文より教授、英語はエビシより教授　三月五日開講　南大門通（漢城銀行前）京城青年會

第四十回帝國議會(東京特電)

衆議院(三)

▲委員會 ─電報故障延着─

朝鮮の生産にかゝる物品の移入税免除に關する法律案委員會は二日午後二時開會松本主税局長提案の理由を述べ次いで山道襄一氏(憲政)の質問に對し

▼松本主税局長 内地と植民地との間に墻壁を設けず所謂自由貿易策を取るを原則とするも合併當時種々の關係上十箇年間移入税賦課をなせり

▼鈴木度支部長官 朝鮮統治の方針は勸業教育の普及を以て大方針とせり而して産業政策に就ては現況に鑑み自然産業獎勵に努めつゝあり又教育に關しては普通教育よりも寧ろ勞働教育に重きを措きて是が普及を圖りつゝあり

▼赤間嘉之吉氏(政友) [illegible]來物價調節と云ば忽ち米に及ぶ本案又蠶業に關するもの多し内地産業に影響なきか租税負擔割合如何

▼松本主税局長 多少の影響は之れ有らんも大したる事なきを信ず

▼鈴木度支部長官 租税負擔の割合は附加税として内地は畑一割三分田一割八分朝鮮は畑九分田一割なりと答へ大口喜六(國民)高橋本吉(政友)兩氏の質問に對し

▼松本主税局長 は十箇年後は移入税撤廢を原則とす、追加品目無しと答へ

▼鈴木度支部長官 は本提出に就きては總督府と大藏省又は内地人との間に何等豫約的行動なきを斷言す又生絲に關しては一般殖産獎勵上より見て寒氣の強き處にては二毛作無きが故副業として獎勵を要す蠶業の如きも最も可なるを以て數年前より是れを實行しつゝあり其産額は大正六年度九萬三千石にして同七年度は十三萬石にも達せん又製絲に於ては器械繰未だ微々たるも手繰は二萬三千七百貫を得たりと述べ

▼山根正次氏(新政) 委員に參加して本案には牛肉を含むやと問ひ

▼松本主税局長 牛肉は含ますと答へ、散會せり

露國騷亂情勢

▲臨時極東政府 哈爾賓に組織

東淸鐵道は次ぎの電報に接せり、リウオフ侯爵、ヴルシロフ將軍、ゴルチヤク提督、支那駐在の露國大公使及び憲法會議員等は北京に會合し臨時極東政府を組織中なり、顏觸れは首相リヴオフ陸相ヴルシロフ、同次官セミノフ、遞相ホルワツト、藏相ウスツルゴフ、文相スツルゴフ、外相クダレエフ等にて政府は當分哈爾賓に置くべし(哈爾賓特電)

▲露都防禦軍隊編成

露國公報に曰く中央勞兵會及び露都防禦委員會主唱の下に布告を發して曰く、勞働階級は首都をして長期の包圍攻擊に堪へしめ且つ最後の瞬間に至る迄降服せざらしめん爲め之れを防禦す可き軍隊を編成しつゝあり穀類を産出する諸州は露都及び莫斯科へ送附し且つ軍隊を組織して直ちに戰線へ派遣す可しと(倫敦電報)

▲莫斯科戰鬪準備

莫斯科は敵軍の進擊に對して強力なる抵抗を爲すの準備を爲しつゝあり現に生産業に從事せざる者は赤衛隊に入隊を強要せられ戰線に派遣さる可し(莫斯科電報)

○支那軍隊派遣確定

國務院側の消息に依れば支那は西伯利亞問題に關し約四萬の出兵を爲す可く且つ是れに要する經費千萬圓を調達する事に確定せり(北京電報)

◎關東漁業好況

[illegible]み都督は一層同計畫を有意味にせん爲め舊側來更に四隻を建造し直[illegible]右の合計は約一萬六千四百圓餘に[illegible]額約七萬七千餘圓に昇れるが此中五百七十九圓と云ふのである[illegible]地物(此近海に獲りしもの)六萬[illegible]

◎大豆問題

大連取引[illegible]はなかるべし内容に就ては未だ事[illegible]秘密に屬するが故に詳細は發表し[illegible]方面に向つて交渉を試み部督府を[illegible]

◎在滿邦人增加

本年一月末現在の在滿日本人總計を見るに[illegible]示せるが更に一月中の出生數を見るに[illegible]三百四十三名にして同死亡[illegible]最低とし死亡率は[illegible]

○我が軍艦に發砲す

日本軍艦伏見は揚子江上流に溯航し新堤上流にて猛烈なる射擊を受けたり英米汽船も新堤にて發砲され揚子江航路全く閉鎖されたり(漢口特電)

○張氏私服兵派遣

近來多數の私服兵士が集所の一砲臺附近に見受けらる是れ張作霖氏が北京偵察の爲め派遣せしものなるべしと(北京特電)

○三將軍視察

川村元帥、大迫、大谷兩大將一行は三日午後二時二十分下關驛著直ちに渡門し午後三時半門司驛發小倉へ向ひ同地梅屋旅館に投宿せり一行は小倉に三泊し八幡製鐵所及び小倉兵器製造所等を視察せる後六日歸東の筈なり(門司特電)

○山縣政務總監

山縣政務總監は三日午前八時三十分東京驛發、小田原に赴き古稀庵に靜養中の山縣老公を見舞ひたり(東京特電)

●鮮米の眞價と格附(三)

品質及び乾燥東北米を凌ぐ 缺點は調製の不充分にあり

▲調製改良今一歩 米穀の檢査に器械力を以てするは日本にては朝鮮のみ也、斯くまで進步せる鮮米のことなれば、努力今一歩にして完成す可きや論を俟たず然れども如何に品質乾燥のみが改良せられたりとて、調製の之れに伴はざる時は、其の眞價を發揮せしむる上に於いて不便多し、否なこれが障害物となりて遂ひに眞價を發揮する日の無きやも知る可からず、大正六年十月檢査法實施以後の檢査米にして、米質乾燥の點に就いては未だ完全なりとは言ひ難し、故に此の點に留意して更らに完全なる調製を期せしむるに就ては、今年度産米の格附改正に際し、朝鮮米は純日本産米同樣の優遇を受く可き哉論を俟たず、現在に於ても既に今日まで手にし來りたるが如き正米ならば特に朝鮮米の格附として別に扱ひにする必要は認めざるものありとは東京廻米問屋市場に於ける定評也

▲檢査不同の虞れ 需要者たる内地人の希望する處は、檢査の統一と善惡の差別也、豊作地の産米は、比較的良質の者多く、隨つて思切つて剣米を出ださしめ可成的良質米の合格多きを以つて誇りとするも、不作地に在りては比較的良質米に乏しく、アレも不合格、此れも不合格として剣ね出だすに於いては遂ひに檢査の結果一物をも得ずといふ事に歸著すも可し、斯る場合に於いては檢査官も、粒々辛苦したる農民の手前に對し、情に於いて忍びざるのみならず、之れが直ちに其土地の經濟上にも影響し、意外の不結果を來さしむる虞れあるより、情狀の上と政策上とにて、不條理ながら合格せしむるの價値無き者にも眼を閉ぢて、合格せしむるの弊無きに非らず、之れ一に檢査官の手心にあるものにて不合格米産出地は之れによりて一時其の難を救はるゝが如きものなるも、其の結果は全道に於ける檢査の不同、不統一を來たさしめ、啻だに檢査法の基礎を危うくするのみならず、延いては折角今日まで、苦心して積み上げたる鮮米に對する信用と聲價とを埋沒するに等しきものなり、又需要者側に在りては、朝鮮一等米と云ふも、二等米と云ふも將た三等米と云ふも年毎に各道其の品位、品質、等級等の檢査が其の實質と異なる時は、賣買者仕入れ人の危險を感ずること少なからず、米穀の移出獎勵の趣旨にも背反することとなる可し、故に合格の價値なきものは不合格何等といふが如く、善惡を明白に鑑別し、取引業者に於て逆算無からしむる樣圖らしむるは鮮米の地位を自づから向上發展せしむる唯一の決策たるを失はずと(東京支局にて〇〇生)

○日米銑鐵交換 愈々交渉成立

日米國政府と交渉中なりし銑鐵交換案件は昨月二十八日米國政府より外務省へ回答あり愈々正式に交渉成立するに至れり其の回答條件は

一、銑鐵問題に關し今後日本造船業者と一切の交渉權限を駐日米國大使に委任す

二、米國は既契約高中より鐵材を日本に輸出し日本は之れに對し鐵一噸に付船舶一噸半の割合を以て二十萬噸の船舶を提供する事

三、提供船舶の價格は噸當り二百五十弗即ち五百圓とし最近二箇年内に建造したる新造船を本年四月迄に提供する事

四、今後の新に契約すべき鐵材と之れと交換すべき船舶に關しては右完了後改めて交渉する事

右に關し二日午後四時より東洋汽船會議室に關係造船業者相會し協議せるが以上の條件中期限の四月なると船齡を一年以内とせるは實行不可能なるを以て結局造船所は四月迄に提供し得る丈けの船舶を提供し之れに對する鐵材を得るに止まらんと(東京特電)

●朝鮮の物價騰貴率

東京、紐育、倫敦と對比して

朝鮮に於ける物價の騰貴は日に月に甚しく何人も驚ろかざるを得ない狀態にある、いつまで此の

▲大勢騰貴 が繼續するかは素より戰局前途の推移と大關係を有してゐるから今日俄に豫斷は出來ず中流以下にとつては甚だ憂心に堪へぬものがあるそれらの詮索は他日に讓るとし一體朝鮮の物價が直間接に戰爭の影響により幾何の騰貴を來したかと云ふに之れを最近の物價と戰爭開始前たる大正三年七月の物價を比較して見れば即ち鮮銀調査局の調査による朝鮮重要生産品の大正三年七月に於ける

▲物價の指數 を一〇〇とすれば最近(昨年末)は一五〇乃至一九〇割高となつてゐる、又輸移入重要品は同じく大正三年七月の指數を一〇〇とすれば昨年末は二一七と云ふ二倍強の値上りで生産輸移入の騷騰平均は一七七になる、乃ち其の各品別は左の如し

▼朝鮮生産品

品別	單位	戰前相場	昨年末	戰前百に對する指數
玄米	一石	一一、八二	一九、三七	一六四
精米		一六、一七	二三、八六	一四一
小麥		七、三八	一二、三二	一六六
大豆		九、七〇	一〇、七五	一一一
小豆		一三、三二	一六、三三	一二三
牛皮	一百斤	四一、二五	七〇、〇〇	一七〇

▲重要輸移入品

品別	單位	戰前相場	昨年末	戰前百に對する指數
綿布	一反	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和紙	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石炭	一噸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マッチ	六函	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石油	一函	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金物	七貫	[illegible]	[illegible]	[illegible]

乃ち右のやうだが然も重要品中なる玄米と云ひ精米と云ひ小麥と云ひ大豆と云ひ殊に生産品に於て昨年末に比すれば今日は著しい騰貴を來したから右の指數は除外程内輪な見積りになつてゐる、生産品の一〇〇に對する一七〇は輸移入品の一〇〇に對する二〇〇になつてゐるかと思ふけれども其精確な調査は缺き他地との比較上右の數字を[illegible]

下に喧しいのも故ありである乃ち戰前の物價を英米日鮮の代表地とも同じく一〇〇とし之れを昨年末に比すると英の倫敦は二二八に米の紐育は二〇六に日の東京は一七五に鮮の京城は一七七となり東京と京城の物價は英米程でなければ其の騰貴の甚しい事は十分窺はれるのである、之れ昨年來暴利取締令や輸出制限令が政府より發布され今日の物價の高價を幾分緩和し更らに前途騰貴すべき勢ひを抑止しようと云ふ所以と思ふ唯日本は未だ參戰はしてゐても

▲英米程眞劍 でなく寧ろ國家として觀れば日本は戰爭により大に利得をしてゐるのであるから英佛の戰時政策の如く物價の最高限度を法定したり食料の制限をなす如き事は財界の動搖を來すなきやを慮られる等の關係上俄に實意を表せないけれど物價騰貴により生ずる諸弊の匡救を圖る事は今日必要な事であらう(某銀行家談)

人事消息

▲末松[illegible]氏 二日午後木浦へ

▲西澤[illegible](海軍技手) 三日夜入京朝鮮ホテルへ

▲島田[illegible](高等法院長) 三日夜入京巴城館へ

▲[illegible]群山府尹 三日夜入京[illegible]へ

▲乾[illegible] 三日夜退京

百渉西疆

最近紐育の大審院にマリーン、トランスポーテーション會社が前露帝に關する二百八十萬弗の軍需品註文契約破棄の損害賠償を要求した▲大審院は之れに對して外國の元首は在位中は訴へ得ざれども其主權を失つた場合は訴へ得との判決を下したので▲同會社は直に廢帝の財産を差押へるとの事▲露國の無秩序を今更ら數へ立てるのも野暮だが▲今度獨逸に割讓されさうなリガの控訴院判事某君は官職の方に見切りを付けて▲活動寫眞館の經營を始め他の官吏共も鐵道員や會社員に早變りをやつたので▲何處の役所も皆空つぽうになつて居るとは最近の消息▲であるから獨逸軍がグン〳〵進んで來るのも當然だ▲米國では既に禁酒法を施行して居る州もあるが參戰後全國に適用さるゝ一般法律の制定が審議されて居る樣に傳はれて居る▲處が陸軍省では之と反對で在來の法律を訂正し▲將校及び兵士が各自の家庭に於て飲酒し若くは友人に獻める丈けは之を許可した▲尤も其家庭が兵營の地帶外にある場合に限ると云ふ但書がある▲まさか酒を飲みたいなら兵隊になれと云ふのでもあるまい▲遞信省中の京城郵便局長服部江君から近詠を寄せて曰く「背春風吾欲還。北香梅影共相關。一期一夜忠寒疾。旬日烟霞髮故山。」▲何でも寒冒に犯されたとの事

陸軍拂下
並に諸官衙拂下品一切
●襦袢、袴下、靴下、手袋、被服一切
京城府漢江通三 電話長三三六番
佐藤古着店

最新刊
日本國體と日蓮主義 佐藤鐵太郎 一、二〇
瞬翁處世百話 杉浦重剛述 九五
[illegible]敎へ 三輪田眞佐子 一、二〇
公民教育資料 東京出版社發 一、二〇
勞働經濟講話 河田嗣三 一、八〇
亞米利加合衆國 坂本健一 四五
最新製圖法と自在畫 瀧川 六五
哲學より政治へ 北昤吉 一、三〇
英語の學び方 神田乃武外十五大家述 九五
源平物語 大町桂月 九〇
珍らしい自然界の印象 柳川又一郎 一、〇〇
小説の作り方 德田秋聲 九五
初等作詩法 律詩 森川竹磎 一、一〇
良寛和尚詩歌集 相馬御風編 一、五〇
三叉文鈔 竹越與三郎 一、五〇
能と謠の講話 天沼 一、二〇
婦人の爲に 高島平三郎 一、三〇
國民道德と日蓮主義 本多日生 九五
京城本町 電話二〇八六・振京城二五七三
大阪屋號書店

商業生 新入募集 補缺募集 三月末限
京城西部[illegible]
松本商業學校

果樹園害蟲驅除の時機來!
⊕印 濃度石灰硫黄合劑
本品特色……品質優良 價格低廉 効力偉大 容量潤澤
右多數入荷仕候に付御注文の程御願申上候
特約販賣店 (說明書御一報次第進呈可仕候)
京城南大門通四丁目
駿府商會 電話長二一六一番 振替京城三八四一

魚釣具 及 投網 卸小賣
◎鳥捕用カスミ網各種あり(御申越次第定價表進呈)
京城永樂町四丁目
吉備商會 電話三一四 振替京四三二八

唾壺の消毒はアイゼール
▲アイゼル溶液
公衆衛生上肺結核豫防の爲め總督府令第四號を以て唾壺の消毒法を規定せられたるが炭酸曹達法は熱湯注加の不便あり石炭酸とクレゾールは高價なり便利と安價はアイゼルに及ぶものなし
▲組合團體等御申込は一割引
▲電話御注文即時配達可仕候
處方調劑 藥品販賣
京城本町櫻井町角
宮本千粒堂藥局 電話三二七・振替京城四九九
◎新十字ゴム絆創膏◎皮膚病新藥ピチロール◎催眠鎭靜ブロブアリン◎かつけ新藥ブラノーゼ◎消毒防臭アイゼール
京都大學六〇六號サブキオール
特約代理店

なんの苦もなく樂みながら禁煙ができる
一貫社の禁煙パイプ
ニセ物あり眞價を明にせんが爲見本進呈送料二錢
東京神田猿樂町三ノ七 振替東京三一二三七

最新刊
常平庵主人著
紀念的史記 朝鮮之古錢
寶物古錢添付 廿二個付 金一圓廿錢 五十個付 金四圓 六十個付 金五圓
▼本書は朝鮮の唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
▼好古家諸氏に便する爲特に各種の朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に配す
▼歴史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絶好記念品なり
發行所 京城 ウツボヤ書籍店發兌

朝鮮總督府裁判所通譯 牛山井麟治氏二大著書
在鮮人士の必須缺ぐべからざる二大珍書
鮮文 普通文官應試提要 定價七拾錢 送料六錢
寸珍型洋裝頗る美本 紙數五百餘頁携帶便
判任文官試驗に應ぜんとする人に 評判任文官一版四版第七版 法律上 悉く網羅 唯一
鮮文鮮語
[illegible]熟語解釋
四六版裝幀淸爽和裝紙質極上 參百餘頁 定價五拾五錢 送料六錢
朝鮮古書熟字俗字 通慣習風俗志 朝鮮
一手販賣所 京城大平通 京城日報社代理部

に主え迄の鯛及び鰆漁は極めて良好にて一隻にて最高四千圓の收穫を揚げたる者あり此の成績に鑑み

五隻の收獲高は　第一朔日丸　三九三八、三四〇　第二朔日丸　一四四七、〇八〇　第三朔日丸　三三三五、〇〇〇

漁夫等は言ひ居れりと……を超ゆることも左まで困難に非ずと……市場に於ける魚類の販賣高は總四千五百三十二頭次ぎが鰆で二千……輸入千七百卅斤は鯖である內地よりの輸入魚も同じく鯛が最高の……

◉社交界の花と唄はれる　哈爾賓總督婦人

マダムお常と稱ぶ日本婦人

此程哈爾賓より引き揚げ來りし某氏の談に依れば某氏が哈爾賓引拂の際孫て知り合なる哈爾賓總督を其の邸に訪問せし際其の夫人に面會せしが夫人は露國人と思ひきや意外千萬にも日本婦人にて眼元涼しく髪の毛の色濃くなき

♣露國的美人にて

スラリと痩せぎすの其の名を金井つたさ呼び愛知縣西中島郡の生れにて當年三十二歳の女盛りなるが同女は元東京新橋の藝妓にて哈爾賓にてはマダムお常と稱し總督夫人として飛ぶ鳥落す勢力あり同地社交界の花と迄唄はれ居れり彼女も亦花柳界に於ける淪落と薄倖の例に漏れず初め新橋にて左褄を取り居る頃株式仲買人に落籍せられ尋常への見越の松に船板塀に納まり居たるが且那の株の暴落と共に彼女も暴落し今度は長崎に赴きてもとの杢阿彌となり左褄を取つて今度は現はれしも左したる事も

♣自棄半分に上海

なきまゝ一厄介事と に渡り夫れより天津奉天、長春とお定まりの轉々流浪を續けし末哈爾賓に來り露人經營の料理店長崎亭より藝妓となりて現はれしに彼女の露人向きの美貌は直に哈爾賓總督の眼に著き彼女も亦總督の足繁く通ひ來るが全くにくからず勤め放れての取なしに愈々日露同盟協約成立し總督は遂に彼女を落籍して夫人となし其の邸に引入るゝ事となり淪落の女郎より一足飛びに總督夫人

♣夢に夢見る心地

となりしつたのお常はなりしとさもありぬべき事なるが此のお常がまだ藝妓中はお俠な勇肌で通せし丈け種々の經綸も多き中にも曾ては或所の大任務を以て入込みし某國陸軍の青年士官と相思の戀に落ちたるなど全く小說的の物語も少なからずと兎に角浮世の苦勞も嘗め盡したる身とて哈爾賓一の羽振りの利く總督夫人の本姓さは滋々身にしむべく今やお常の渾身の愛は總督に注がれつゝあるに從ひ總督も亦一入お常可愛く日夜お常々々と可愛がり居りしが突然今回の騷亂惹起するや總督はお常の

♣手切金を持たせ

身の上を思ひて莫大な途中は保護して一と先づ烏港迄引揚しめんとせしにお常は反つて『貴郎のお側は死んでも離れませぬ什麽ぞ哈爾賓の土にして下さい』と泪を零して總督の腕に凭れかゝりしより道の總督も滿面の喜色にて然らばとお常を留むる事となりたる由にてお常は美々しき洋裝姿にて今も甲斐々々しく立ち働き居るとか世には果報な女もあつたもの哉

♣あひるはガアく

坊ちやん、あひるはなんというてなきますか？

◇日南の家鴨◇

◉海草「菅藻」から綵

＝立派な棉の代用になる＝

◆綀水で煮ると純白の纖維となり◆
◇紡げば綵となり染色も思ふ儘に◇

日本に於ける輸入品の王樣は棉花である、最近一箇年の棉花輸入額は實に三億圓其斤量は八億を超ねてゐる而も紡績界未曾有の

▽好況 に伴れ刻々增加しつゝあると云ふのに內地の產額は漸く七萬斤にしか登つて居らぬ、當局が調査會を設けて自給策に腐心する理由も即ち茲にある譯である從來棉花の代用品の製出に就いては種々研究も積まれ特許さへ得たものがあつたが孰れも

▽完成 を見ずして終つた。ところが今回東京植物研究所の手にて一種の海藻から木綿にも優る立派な綵を至極簡單に製出する方法が發明され其特許さへ得るに至つた。橋本研究所長は語る『原料の海藻は菅藻と稱ふる一種の顯花植物で東北地方では

▽濱草 源すげ房州邊では『龍宮の乙姫の元結の切つ端』などと其地方々々に依り樣々に呼んでゐるが從來は何の役にも立たず徒らに渚に打棄てられ唯僅に夏季に於ける島の日覆として兩端を台せ背上に當がふ位のものであつた隨つて評價なども無く

▽海中 にあつても寧ろ漁夫の邪魔物位で魚族すら殆んど其繁茂する附近へは寄り附かぬ有樣である而かも其の繁殖力は非常に旺盛で每年四月と九月の兩回に刈取らねば始末に困る程厄介視されてゐた處が此邪魔物扱にされた海藻から

▽木棉 以上の綵が抽出されると言ふと一寸可笑しいやうに響くが細長く藤蔓のやうに長葉の纖維悉くが綵になるので丈夫でこまかく而も光澤に富み織物にすれば強靭性を有し絹乃至毛織物の代用としても遜色ない程である本研究所が發明した精製方法は極めて平易簡單な人にも

▽容易 に出來るもので先づ數尺に伸びた菅藻を刈取り灰汁で一時間程煮沸した後清水で濺ぎ更に稀硫酸で三十分程煮れば綺麗に外皮が剝がれて純白の纖維となる其れを機械に掛けて紡げば忽ち立派な綵が出來上り染色も思ふ通りになる殊に

▽水に は非常に抵抗力を有し彼の風水害の際深川に於て偶然にも潮水に浸つてたが毫も損じなかつた、斯くの如く漂白する迄の仕事は至極容易で農民に養蠶其他の副業ある如く漁民の副業として資金も要らず隨意に漂白し紡績工場へ送れば宜いので今迄一文の價値の無かつたものが一轉して

▽無限 の富源となつた譯である、農商務省でも此の事業を非常に有望と認め各水產試驗場に試驗しつゝあるので行々は之を以て彼の棉花の輸入を防遏したい考へである（東京）

◉お雛の日

日曜日の昌慶苑

◇お壽司を喰べたり◇
○○雛を見たりしてカチ合つ○○

三日の日曜は雛の節句とカチ合つた上に空には纖翳もない日本晴れであつたから京城市內で少々日が好きな處になると散步する人で大賑ひであつた、就中

◆◆昌慶苑 は朝から恐ろしい人出で電車は往復ともに滿員滿員中には電車に乘る事も出來ない徒步の人が多く見受けられた。植苑本館の熱帶溫室にはいろくの草花が妍を競ふてゐる、觀覽者は溫かい光を浴びながら春の氣分を豐かに味ひつゝ芝生で

◆◆お壽司 を開いて居るのも三々五々見受けられた動物園では愛嬌者の猩々は近頃健康を害した爲め御氣嫌斜めで始終毛布を被つて頭を抱ね込んでゐるが珍客

◆◆ハイエナ は例のヨチヨチ腰を振乍ら檻の中をぐるぐる廻つては金網を喰ひ破らうとしてゐるので人氣を呼んで居た。數日前まで每夜

◆◆鳩小舍 に侵入して殺戮を恣にしてゐたフクロは事務員の奇計に陷つてとうく籠の中、籠の中は勝手が違つたやうな顏をしてジツとして考へ込んでゐるが夜になるとお隣りの鳥に向つて爪をといでゐるので

◆◆御近所 からは頗る物騷がられて居るとの事。此れも數日前ウマく網に引かゝつた雀鷹は神妙にしてゐるが動物園としては續けさまに斯うした侵入者を捕獲したのは極めて

◆◆珍しい さうである。それやこれやで觀客は大いに興がり四時の閉苑を名殘惜しがるものが多かつた當日の入苑者は二千三百餘名近來にない數であつたと

♣進明女學校落成式

◉留置場で頓死

前警視廳警視

私立金澤盲啞學校教諭橋本榮作氏の實兄前警視廳警視橋本尙信氏（六〇）は去る廿八日醉漢として金澤署へ撿束を受け留置場にて頓死せるも死因不詳の爲め三日中村醫學博士執刀解剖の上取調中（金澤電報）

◉紡績罷業解決

既報の大阪福島紡績會社福島分工場職工の同盟罷業は調停の結果職工側無條件にて復業無事解決す（大阪特電）

◉鑛業屋の心中

相手は女郎で兩人絶命

大阪市西區九條通二丁目鑛業伊勢本五郎（三〇）は松島遊廓娼妓花里と劇藥心中し兩名共絶命せり（大阪特電）

◉六人の父

常陸丸船長富永氏の家庭

獨艦ウオルフ號に捕獲後撃沈され身は自殺を遂げたりと傳へらるゝ常陸丸船長富永清造氏の神戸の自宅を訪へば一家は打ち濕りて夫人は六人の小供を擁して未だ死を悲み居れり（大阪特電）

◉汽船航行中

汽鑵破裂

即死者三十名

兵庫縣武庫郡新花家濱にて相澤汽船所屬建久丸千九百噸は航行試運轉中汽鑵破裂して即死者三十名輕傷者十名を出せり（神戸電報）

◉進明女子高普校

校舍落成

三日落成式擧行

私立進明女子高等普通學校にては曩に一萬三千圓の工費を投じて周成洞に校舍改築中なりしが先般其の成るを見るに至りたるを以て三日午後一時より同校講堂に於いて之れが落成式を擧行せり席定るや小杉副校長の式辭及び報告に次いで關屋學務局長の總督訓示代讀、館參與官の松永道長官の來賓祝辭代讀に次で父兄總代卒業生總代職員及び生徒總代の祝辭あり之に對し校主謝辭を述べ『金剛石』の唱歌を合唱して式を終る來賓には關屋局長、館京畿道參與官、金谷府尹、上田視學官、二子京城専修學校長、成田高等女學校長及び金道學務主任、各學校職員及び父兄母姊多數にて盛會なりき、尙新築校舍階上には生徒成績品を陳列し來賓の展覽に供せり

◉行李に祟らる

滋賀縣犬上郡東甲良村生れ前科三犯片岡平八（三七）は出獄後間もなき本年一月十四日京城中林洞久保田某方に行き捺て永登浦分監にて知合ひとなれる四元慶助が久保田方に衣類在中の柳行李一個を預け在るを知り之れを詐取せんとして俺は慶助の叔父だから同人の行李を渡し呉れと申込みたるも其の擧動を怪まれて遂に詐取し得ず其の儘逮捕されしが此の程平八は京城地方法院にて懲役一年に處分さる

◉今夜開會!!!

讀者優待活動寫眞會

吾社は今回地方愛讀者優待寫眞巡回撮影を開始すると共に市內（龍山を含む）愛讀者各位に對しては今四日夜左記の如く市內活動寫眞黃金館を本紙新舊愛讀者の爲め特に開放し活動寫眞（無料觀覽）の壯擧を企畫せり本紙讀者は擧つて觀覽せられたし

◇會　場　市內黃金町黃金館
◇開會日時　本四日午後六時半より
◇入　場　券　入場料は京日新舊讀者に限り無料

但し四日本紙朝刊內刷込み讀者優待活動寫眞入場券を持參せられたし、入場券は一葉に付二人迄有効とす

追て定員に限りあれば滿員の節は止むなく入場お斷りする事あるべし

◇影畫フヰルム
■舊劇川合又五郎　■活劇大金鑛
■滑稽虎のミニー　■滑稽スロットルの少年
■滑稽門番ジミー
◇教訓琵琶劇
■大正の孝女花の花

京城日報社

讀者慰安　活動寫眞
愛讀者優待券
會場　京城黃金館
三月四日午後六時卅分開演（本券一枚二人迄通用）（本券通用一日限り）
京城日報社

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版・亞鉛版　京城日報社寫眞製版部

修繕・賃貸　部分品・針・油　ミシン商會

色白藥　毛生藥
東京美容院の色白藥毛生藥はきびそばかす等一切の止め脫毛藥は北原の美顏料皮膚の洋行研究と十三男爵氏數回の實地經驗に成りし本院の白の信用來院者に使用して確實なる大の詳細說明書呈す
發賣元　東京神田町九　日本化粧品株式會社

驚くべき金儲　あらはる
小資本にて確實に最大利益有るは新案特許屋外晴室活動寫眞器械にして理想的最新鋭機なり銅貨を投入すれば自働的に開き面白き寫眞を鮮明に映寫し觀客をして尙再映を望まるゝ程興味深き金儲機械にて取扱輕便素人にも出來る他に比類なし
◎郵券弍錢送速時說明書進呈◎
東京市淺草區藏前通八幡町八番地
製造發賣元　大澤商會
振替口座東京一六六八八番

大阪で今大流行の新柄セールと大嶋紬
大阪市東區本町織物問屋松屋呉服店にては常に機敏に活動し時に臨じては時々臨時小賣もなし最も格安に直接需要者に販賣して非常なる人氣を博し同業者をアッと云はせたが今回又々新式セール一反只の四圓八十錢別上六圓大島新一反只の四圓三十錢均一と云ふ安値段で賣出して居るが非常なる大人氣である希望者は此際品切れならざる內に至急ハガキで男女別年齡を記入して申込めば納合新切に見らい代金引替か若くば振替大阪三五八九一番に拂込まば（運賃實費）にて送る萬一不向の節代金返金す安心して御注文せられたし。

支部長及び代理店主幹募集
報酬月額百圓以上確實
自筆履歷書及返信郵券同添へ大至急御申越被下度候
東京市日本橋區蠣殼町二丁目二番地
資本金六萬圓　有價證券賣買及月賦販賣　帝國稲產株式會社
電話浪花長二五五七番二五四番三二九九番
振替口座東京四〇〇一一番電略（テイ）又は（テ）

今　昔
效能　第一通じを引下げ便通をよくし滌毒其他諸毒を下す
效能で賣れる　ひるくぼり
大日本大阪高津
電南七二九・振替大阪九七三

專賣特許第三二〇六九號
木材防腐防蟲劑
◉クームヒン
白蟻、涙菌に特効あり
……說明書御申込次第送付……
京城旭町一丁目
製造發賣元　山田商店
電話一〇七八番　振替三一九六番　龍山電話四二四番

醇良無双清酒
衛生無害品質無双
發賣元
京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　長電話一一七一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

鐵道用　工作用　鑛山用　紡績機用　各種喞筒　械動機
電氣諸機械通信用器械
製作販賣
工事設計受負
特許願濟　PATCH
臺所界の一大革命
本品は火、ハンダ、セメントを用ひずして接合上最も困難なるアルミニユーム、鐵瓶、戸釜を初め其の他諸金屬の鍋急須等及びゴム製品の漏れ口を修繕し得る最新式最新の利器庭一大實用品にして今日の家經濟の先鋒、物價暴騰の今日家庭の救世主なり
定價一組武拾五錢（返信料共）一打武圓七拾五錢（荷造料付）
東京府下日暮里停車場前
工場電話下谷五二三二番
合資會社　櫻田工場營業部
東京京橋南紺屋町一五
振替東京三九九八二番
電話京橋三五一〇番三五二〇番

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醤油
代理店　發賣元　櫻正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替貯金京城七五番

櫻御殿

第百六十八回　大阪　霞の家主人

座敷牢（七）

『奥方からお遣はし遊ばした御消息を、お城下盤處の並木松で奪ひ取つた曲者があるさうでござります、何と恐しい世の中ではござりませぬか』

斯うした噂が奥殿一ぱいの噂となると、夫から夫へ枝葉がさす

『これは奥方に恨みを持つ者が、お消息を呪咀の的にして、荒神樣をお祈りする爲めでござりませう、眞に恐しいぢやござりませぬか』

と戰慄をするもあり

『まさか、御領内に住む者が、奥樣をお恨み申す筈はござりませぬ、これはお文箱にお金子があると思ひ違へ、奪ひ取つたものでござりませう、今ごろはお消息を開いて見て、さぞ落膽して居りませう、何んと異しいではござりませぬか』と喜樂さうに云ふもある、その中で最も心を痛めたのは菩薩であつた、彼女の悧悧な心の中に『奥方のお狀箱に目を掛けるとは、容易ならぬ曲者、必定呪咀調伏を致さうとの目論見であらう、年頃の御厚恩にお報い申すは此の時ぢや、その曲者を尋ね出して、きつと詮議をして見よう』と思ひ定めた

兄の彦丸は、美知姫の狀箱を奪ひ取らせる密事に關係し、妹の菩薩は曲者を詮議しようといふ、その間の心持ちは眞に千萬里の相違である、もし彦丸に菩薩ほどの覺悟があつたら、何れだけ出世をして居たか知れない、けれど天の配劑は不思議なもので、女の菩薩が怜悧、男の彦丸が愚劣、そこに面白い齟齬がある

假し、その手紙は、大局に關係のない物でも、城下盤處に待ち伏せして、飛脚の持つて居る御用箱を奪ひ取る者があるといふのは、容易ならぬ大事である、嚴しく詮議せでは協ふまい、とあつて、目付役は八方に手を擴げる、同心小人は草の根を分けても見出さでは置かじと驅け走る

『曲者はまだ知れぬさうでござります、眞に憎いぢやござりませぬか、全體何うしたものが、何處へ逃げたのでござりませう』

御殿の噂は斯う變つて來た、奥方の筆蹟を取つてそれに呪咀をするのではないかこの心が誰の胸にも浮ぶ、從つて皆に不安の氣が流れる、それを見て手を拍ち歎んだのは彦丸であつた

『仇を討つて遣つた、わしばかりに辛うするお奥衆に熱い湯を呑ませて遣つた、これで胸の痞が下りた』

彼は斯う云つて得意の目を輝かした、それをちらりと聞いたのは菩薩である

『もし兄さんが爲されたのではあるまいか』と思ふと、腹のどん底が覆へるやうに苦しい、よもやとは思ひながら已の局へ彦丸を呼び寄せて、語徐かに問ひ掛けた

『兄さま、あなた、恐しいことを遊ばしましたな』

『恐しいことゝは何ぢや、わしは覺えぬ、わしは知らぬ』

『いゝえ、お兄さまが御存じのない筈はござりません、此の間奥方から御遣はし遊ばした御狀をお奪りなされたはお兄さまでござりませう』

『わしでは無い』

『お秘しなされますな、こゝで潔く打ち明けてお了ひ遊ばしたら、わたしの命にかけても、きつとお救ひ申します、けれど強いてお秘しなされますと、あなたのお爲めになりませぬぞ』

『わしは知らぬ、この下手人は他にある』

『おゝ』と呆れた顔をして『お兄さま御存じでござりますか』

肺ペストと注意（一）

總説

『ペスト』は本病に固有なる病原菌即ち『ペスト』菌に因りて惹起せらるゝ傳染病なり、本菌は身體何れの部分よりも侵入するも其の重なる侵入部門は皮膚及び呼吸器なり而して兩者各々臨床上特有の病症を呈するを以て前者を腺『ペスト』と稱し後者を肺『ペスト』と稱す以上二病症自ら差異ありと雖も病菌は單に習性を異にするのみにして初發當時は獨り侵襲部位に局在するも末期に至れば多くは全身に瀰蔓し所謂敗血症を起し患者の多くは死亡の轉歸を取るを常とす、是れ『ペスト』患者の排泄物は糞尿及び喀痰を問はず總て危險なる所以なり

肺『ペスト』病症

一、潜伏期　潜伏期とは病毒感染後發病に至る期間を云ふ、本症に於ては此の期間は普通三日乃至五日間にして長きも十日以上に亘るは極めて稀なり又最短は數時間より一兩日なることあり之れ肺『ペスト』の劇症なる場合に最も多しとす。

二、一般症狀　本症は急劇なる熱度を以て始まり體温三十九度乃至四十度の高熱を示し或は猶ほ高度に達し頭痛劇しく眩暈あり眼結膜充血し顏面潮紅痴呆狀を呈し咳嗽あり言語重舌し胸部挾窄の感、胸痛劇しく苦悶の狀殊に甚しく而して呼吸淺く增加し口唇及び四肢の末端は紫藍色を呈す、脈頻數にして且つ微弱なり咳嗽は殊に二日目より頻發し多量の喀痰を喀出す、痰色は普通稀にして多くは帶黄紅色或は暗紅色を呈し又は純血色なるあり而して精神朦朧として多くは意識を乏失す、稀れに意識の稍々明瞭なるものは恐怖心と疑惑の念甚しく其の結果躁狂狀を呈す病症の進むに從ひ漸次昏睡狀態を呈し虚脱に陷り心臟痲痺に因つて斃る、本病に依つて死の轉歸を取る經過は極めて迅速にして重症なるものは一兩日、普通三四日間にして一週間以上に亘るものは殆んど稀れなり

本病は死亡率甚だ高く罹病者の大多數は死亡す、稀れに本症を輕く經過し往々保菌者（本病治療後二箇月餘本菌含有痰を喀出せる實例あり）となりて病毒傳播の媒介たることあるを以て本病流行地に在ては氣管支炎罹病者に特に注意[illegible]べきことは防疫上必要なることゝす本病症は概ね上述の如くなれども發病初期は勿論初發患者にして病勢稍々進める後と雖も往々經驗者にして尚且誤診を免れざることあり故に疑はしき患者の確診方法としては細菌檢査に俟たざるべからず。（警務總監部衛生課）

書畫用 純白絹
京染吳服商 たまや出張店 京城永樂町一 電話一九六〇

日報俳壇

冬　雜詠

枯芦や人影に散る小さき魚　未刀
晩鴉黒う畫趣に入りぬ枯柳　同
枯芦や岸に届かぬ綴ひ網　同
纜れつゝ鴨流る海の深き色　同
鴨啼くや山相迫る水の上　同
店頭に鴨吊し居る市日哉　同
坂町は官舍のみなり冬の月　同
朽ちて渡ぬ橋の葉暗し冬の月　同
蒋に這へる島の畑や冬の月　同
改葬の穴掘るヨボや冬の月　同
土工場の石皆尖り冬の月　蛍水
默し合ふ小家二軒や冬田風　同
冬山の斜陽に炊ぐ厨かな　友萍
織部居の窓打つ風の冬木哉　同
野社の鳥居朽ちたる落葉哉　忍堂

◉三山商會開業　京城の實業家文泰榮張・劉泰鏞の三氏は是れまで朝鮮人支那人間にのみ營業されし人蔘が近時内地人間にも愛用さるゝに至りたるを以て斯業の發展を圖る爲め開城蔘業社と特約し京城南大門通一丁目に三山商會と稱する一手販賣店を設け兩三日前より人蔘諸製品の販賣を開始せり

皮膚科 佐藤醫院
皮膚病　黴毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）　電話一一七三番

讀者の領分

▲汝に出るものは汝に歸るもの也何處へ行ツても他人の妨害になる樣な者は相當の制裁を受くるは當然である、何ぞ獨り琵琶會のみならんやお客扱をされたくば、お客らしき態度を持し以て下劣の行動を止め、今少しく品性の向上を心懸けよ奇聲を發することを以て能事とするならば昌慶苑の驢馬は汝等に優ること萬々（劇場取締）▲近頃鐵道汽車の衝突脱線、遲延が頻々として見えますが原因が乘務員の旅費を取上た結果だとは返[illegible]も寒心の至りに堪へません當局者に望む（一旅客）▲探齊の虎の軸物は幾許位の價値でありますか極く古物を所持して居ります（愛讀者）▲エス生に答ふ事情を知らずとある故勘忍してやるが石炭の高いのかとは何事だ水道の不足故市民は大なる不自由を忍んで居る其理由も知らず朝湯とは何事か大膽朝湯なるものは年寄共のする事なくエス君老年なれば内地に還り給へ鮮滿にては活動の出來る人物と思へず（憤怒生）

常陸丸保險金　戰保要求順序

臆なしとせられたが英國海軍省の公報亦常陸丸の戰沈を傳へたり（内東京、海上保險會社[illegible]六十五萬圓、郵船扱のもの百萬八千圓）拂ひを要求し又保險會社は戰時保險局に補償を要請するに至るべし[illegible]

[illegible]ター品の輸入杜絶と印棉の暴騰せる爲意外の好況を呈し四十手の如き印度行と略同値にて成立し長江方面も近く南北の妥協成らんとする荷十二萬俵を昔處し一月一日以來決行せる紡績操短の効果少きより來らんには殆んど憂ふるに足らざるのみか内地機業家もこの上永く夏物の製織を遲延せしむる能はざ[illegible]續せんには當に暴騰を演ずるのみならず本邦紡績業界の一問題たる[illegible]べし而して米價の[illegible]

京城寬勳洞三十番地南召史方[illegible]温突の焚口より發火まづ附近の[illegible]

大正七年春季號 園藝カタログ（無代進呈）
一切の花卉蔬菜の說明と培養法を記述し、代價を低廉にし寫眞原色版にて其の形容を彷彿たらしむ
▲郵送料二錢添へ御申越次第無代進呈仕候
東京京橋區日吉町　國民新聞社勸業部

朝鮮諸官廳受驗叢書　全部完成
京城專修學校教官 安達大壽計著
▲朝鮮諸官廳受驗提要　全一册
▲受驗必携 朝鮮公文解釋　全一册
▲受驗必携 朝鮮六法要論　全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 朝鮮行政法規大意　正續全二册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成　全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 作文軌範　全一册
▲前高等普通學校教官 阪上綱吉著 朝鮮諸官廳受驗者必携 法律問答　全一册
▲受驗者必携 法律講義（大倍）　全一册（特價七十五錢）
以上定價各四拾錢　送料各一册金四錢（法律講義は定價送二倍）
本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項全部之を網羅し、而も當局の方針に則り極めて明確なる模範的解答を施したるものなれば、受驗準備以て最も適合せること到底他に其類を求むべからず、されば此等の書は何れも發行以來嘖々たる好評を博し、朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官、見習、雇員、警部、巡査、看守、其の他各種の資格試驗に應ぜんとする江湖の諸士は宜しく本叢書を座右に備へ、受驗科目學修上の迅速と正確とを期し、一日も早く有資格者となり登龍門を開扉することを祈る。

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の内容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
袖珍總クロース顔美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 大阪屋號 嚴松堂

イケダ小兒病内科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一二三四番（自宅）三〇〇〇番

資本金壹百萬圓　京城 株式會社 漢湖農工銀行　支配人 遠山熙
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

化學諸器械
仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番
(K) 藥種賣藥卸商

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

眼鏡專門
△弊堂特色 レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强
（詳細定價表發行す）
京城南大門通二丁目二二番地 宮川大學堂 電話二九五九番 振替京城壹壹貳九番
（眼鏡製造工場子弟入用）

産科婦人科 京城壽町 電話一二〇一番
醫學士 二宮亮吉 二宮醫院

優等清酒 一鶴
發賣元 永樂町二丁目 本荘酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四〇番・八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

朝鮮語會話　西村眞太郎著　定價八十錢 郵稅四錢
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城龍山等各地に僞物有御注意
百圓進呈　りん病 ばい毒　請合薬 特三円 並二円 ほか
淋病薬王薬は治淋劑とし梅毒薬王薬は駆梅内服薬とし医薬學上最有効と確定し帝國醫科大學病院等にて常据配劑せる高貴薬たるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
あらゆる治療をあすも効なき患者に東京其他各地にも來談あれ
にせ物にせドラッグあり
大阪有田ドラッグ商會 販賣所
京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目 大阪ドラッグ商會
釜山大廳町二丁目 大阪ドラッグ商會
元山本町三丁目 大阪ドラッグ商會
他の藥店に販賣を不許
京城 南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會

間自動車著發時刻
下り 一番車 二番車 ／ 上り 一番車 二番車
金泉發 前八、〇〇 後二、〇〇 ／ 尚州發 前九、〇〇 後一、〇〇
玉山發 九、〇〇 三、〇〇 ／ 咸昌發 一〇、〇〇 一、四〇
尚州發 一〇、〇〇 四、〇〇 ／ 醴泉發 一一、〇〇 二、四〇
咸昌發 一一、〇〇 四、五〇 ／ 龍宮發 一一、三〇 三、三〇
醴泉發 一二、三〇 五、五〇 ／ 玉山發 一二、〇〇 四、三〇
榮州著 二、〇〇 六、二〇 ／ 金泉著 二、〇〇 六、五〇
織居自動車部 金泉支部 金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕候

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
神代丸 三月十四日 後四時出
秀吉丸 三月 六日 後四時出
君代丸 三月 四日 後四時出
大有丸 三月 八日 後四時出
仁川海岸通二丁目五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆
芝罘、大連行 關東都督府命令航路
共同丸 三月六日午後入港 三月八日午前十時出
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會 本町（電話二四四七番）
元山代理店 田口回漕部 南大門（電話二七六〇八二）
京城取次店 河村運送店

日本郵船 仁川出帆
大連行、天津行
相模丸 三月二十日
三河丸 三月 十日
高砂丸 三月 十日 正午出
仁川海岸町一丁目十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
對馬丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日（）午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 三月十三日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 三月廿一日後六時出
釜山港埋立新町 本郵船取扱店 大池回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸大阪行（群山寄港）
須磨丸 三月十二日 後五時出
南部丸 三月 九日 後五時出
福州丸 三月十三日 後五時出
木浦、釜山、嚴原、鄉ノ浦、長崎行
安東丸 三月十八日 後二時出
鎮南浦、大連行
安東丸 三月十三日 後二時出
信濃川丸 月 日 正午出帆
元山出帆
西湖津、新浦、城津、清津行
宮島丸 三月十日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 三月 八日 後九時出
大連出帆
湖北丸 三月三日 前六時出
基隆丸 三月十四日 後四時出
上海、基隆、打狗行
内地各港出帆主要航路
南米行 毎月一回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回
御注意
◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社ト聯絡運輸ノ取扱仕候
◎旅客荷物ハ遠路航路ヲ除クノ外各港共切符ヲ販賣ス
◎新義州行ハ一時間前迄ニ御申込ノ事
◎×ハ一等客船△ハ二等客船ヲ示ス
大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇番・二五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社 電話七八〇番
仁川京城通り切符發賣所 電話六一番

朝鮮郵船 釜山出帆
元山より北鮮各地經由雄基行
成鏡丸 月 日
京畿丸 月 日
忠清丸 月 日
第二商運丸 月 日 釜山發
×印あるは江原道寄港せず
關門より釜山各地經由元山行
京城丸 月 日
會寧丸 月 日
城津丸 月 日
忠清丸 月 日
商運丸 月 日 元山發
大阪行（釜山門司經由）
平壤丸 月 日 釜山發
元山ヨリ釜山經由門司行
京畿丸 月 日
第二商運丸 月 日 元山發
元山ヨリ江原道各港釜山經由門司行
成鏡丸 月 日
忠清丸 月 日 元山發
鬱陵島行（浦項及各地經由）
盈德丸 月 日 釜山發
浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸 月 日
襄陽丸 每日 釜山發
濟州島行（長承浦麗水巨文島經由）
昌平丸 月 日 釜山發
濟州島行（西歸浦八島子島經由）
東興丸 月 日
西歸丸 月 日 木浦發
釜山、麗水間 統營丸 每日釜山發
釜山、巨濟、海州丸
木浦麗水間（莞島木浦を經て釜山行）
天丸 三日目每ニ 木浦發
木浦ヨリ多島海各島行
順天丸 修 一 月 日 木浦發
慶興丸 月 日 木浦發
仁川木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸 月 日
金海丸 月 日 仁川發
濟州行（江華島延坪島經由）
全州丸 每日 仁川發
南陽丸 休航
三十一日ハ休航
其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
青島行（芝罘、大連經由）
江原丸 月 日 仁川發
鎭南浦行（大阪神戸門司より）
平壤丸 月 日 元山發
本社 釜山 電話一九五二番
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門通 松原運送店